

三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
1	燃料加工工程設備	72	燃料加工含有率分析装置
2	燃料加工含有率分析装置	73	搬送装置-3
3	燃料加工含有率分析装置	74	水素分析装置
4	燃料加工含有率分析装置	75	熱分析装置
5	燃料加工含有率分析装置	76	炭素・硫黄・窒素分析装置
6	燃料加工含有率分析装置	77	塩素・フッ素分析装置
7	燃料加工含有率分析装置	78	水分分析装置
8	燃料加工含有率分析装置	79	金相試験装置
9	燃料加工含有率分析装置	80	燃料溶解・調整装置-2
10	燃料加工含有率分析装置	81	ICP-発光分光分析装置
11	燃料加工含有率分析装置	82	ICP-質量分析装置
12	燃料加工含有率分析装置	83	ペレット溶解性試験装置
13	燃料加工含有率分析装置	84	EPMA分析装置
14	燃料加工含有率分析装置	85	プルチウムスポット検査装置
15	燃料加工含有率分析装置	86	O/M比測定装置
16	燃料加工含有率分析装置	87	粉末物性測定装置
17	燃料加工含有率分析装置	88	液相密度測定装置
18	燃料加工含有率分析装置	89	X線回折測定装置
19	燃料加工含有率分析装置	90	ロッドスキャニング装置A
20	燃料加工含有率分析装置	91	ロッドスキャニング装置B
21	燃料加工含有率分析装置	92	除去試料受託装置
22	燃料加工含有率分析装置	93	分析装置(将来設置)
23	燃料加工含有率分析装置	94	燃料供給装置
24	燃料加工含有率分析装置	95	実験台
25	燃料加工含有率分析装置	96	試薬保管庫
26	燃料加工含有率分析装置	97	分析装置(将来設置)
27	燃料加工含有率分析装置	98	分析装置(将来設置)
28	燃料加工含有率分析装置	99	分析装置(将来設置)
29	燃料加工含有率分析装置	100	分析装置(将来設置)
30	燃料加工含有率分析装置	101	分析装置(将来設置)
31	燃料加工含有率分析装置	102	蛍光X線分析装置
32	燃料加工含有率分析装置	103	分析装置(将来設置)
33	燃料加工含有率分析装置	104	フードA
34	燃料加工含有率分析装置	105	フードB
35	燃料加工含有率分析装置	106	引出前希釈槽
36	燃料加工含有率分析装置	107	分析済液中粗固液分離GB
37	燃料加工含有率分析装置	109	放射能濃度分析GB-1
38	燃料加工含有率分析装置	110	放射能濃度分析GB-2
39	燃料加工含有率分析装置	111	試薬供給装置
40	燃料加工含有率分析装置	112	流し台(回収槽)
41	燃料加工含有率分析装置	113	分析用器具保管庫
42	燃料加工含有率分析装置	114	燃料集合体組立工程設備
43	燃料加工含有率分析装置	115	燃料集合体組立装置
44	燃料加工含有率分析装置	116	燃料集合体洗浄装置
45	燃料加工含有率分析装置	117	燃料集合体第1検査装置
46	燃料加工含有率分析装置	118	燃料集合体第2検査装置
47	燃料加工含有率分析装置	119	燃料集合体第3検査装置
48	燃料加工含有率分析装置	120	燃料集合体第4検査装置
49	燃料加工含有率分析装置	121	燃料集合体第5検査装置
50	燃料加工含有率分析装置	122	燃料集合体第6検査装置
51	燃料加工含有率分析装置	123	燃料集合体第7検査装置
52	燃料加工含有率分析装置	124	燃料集合体第8検査装置
53	燃料加工含有率分析装置	125	燃料集合体第9検査装置
54	燃料加工含有率分析装置	126	燃料集合体第10検査装置
55	燃料加工含有率分析装置	127	燃料集合体第11検査装置
56	燃料加工含有率分析装置	128	燃料集合体第12検査装置
57	燃料加工含有率分析装置	129	燃料集合体第13検査装置
58	燃料加工含有率分析装置	130	燃料集合体第14検査装置
59	燃料加工含有率分析装置	131	燃料集合体第15検査装置
60	燃料加工含有率分析装置	132	燃料集合体第16検査装置
61	燃料加工含有率分析装置	133	燃料集合体第17検査装置
62	燃料加工含有率分析装置	134	燃料集合体第18検査装置
63	燃料加工含有率分析装置	135	燃料集合体第19検査装置
64	燃料加工含有率分析装置	136	燃料集合体第20検査装置
65	燃料加工含有率分析装置	137	燃料集合体第21検査装置
66	燃料加工含有率分析装置	138	燃料集合体第22検査装置
67	燃料加工含有率分析装置	139	燃料集合体第23検査装置
68	燃料加工含有率分析装置	140	燃料集合体第24検査装置
69	燃料加工含有率分析装置	141	燃料集合体第25検査装置
70	燃料加工含有率分析装置	142	燃料集合体第26検査装置
71	燃料加工含有率分析装置	143	燃料集合体第27検査装置

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
191	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-11	199	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-19	200	重大事故対処設備
192	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-12	201	共通設備	220	可搬型重大事故対処設備-4
193	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-13	202	南第1電動ハッチ	221	可搬型重大事故対処設備-5
194	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-14	203	管理区域気体廃棄・換気空調設備	222	可搬型重大事故対処設備-6
195	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-15	204	201~212 ローカルクーラ用室外機		
196	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-16				
197	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-17				
198	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-18				

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
 燃料加工建屋(PA)
 全体機器配置図 平面図
 地下2階(EL.43.2M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
【燃料集合体組立工程設備】		【固体廃棄物設備】	
1	燃料集合体立会検査装置	93	固体廃棄物選別装置
2	燃料集合体用貯蔵チャンネル	95	分析スクラップ保管GB (将来設置)
		97	フォークリフト
		98	封入容器保管庫
		99	分析スクラップ保管GB (将来設置)
【梱包・出荷 工程設備】		【放射線管理設備】	
12	燃料ホルダ取付装置	121	排気用サンプリング
13	組立クレーン	122	サンプリングポンプユニット
14	輸送容器点検架台	100	燃料移送ポンプ
15	梱包準備室天井クレーン1	101	燃料油貯蔵タンク
16	梱包準備室天井クレーン2		
17	電動式搬送路しゃへい履		
18	梱包室保守用天井クレーン		
【燃料集加工工程設備】		【NDA】	
21	オートクレーン試験機	151	燃料集合体測定装置
22	バースト試験機	152	固体廃棄物測定装置-1
23	金相試験設備	153	固体廃棄物測定装置-2
24	流し台 (回収槽)		
【原料粉末未入工程設備】		【窒素消火設備】	
41	ウラン粉末生入出庫装置	181	固定式ガス消火 消火ガス貯蔵容器ユニット, 減圧装置ユニット
42	ウラン粉末生入受払移載装置	182	GB消火 消火ガス貯蔵容器ユニット, 選別ユニット
43	ウラン貯蔵庫	183	窒素ガス消火設備室 消火ガス貯蔵容器ユニット, 選別ユニット
44	ウラン粉末生入受払搬送装置		
45	ウラン粉末生搬送容器一時保管エリア		
	共通設備		
	171	南第2電動ハッチ	
【管理区域気体廃棄・換気空調設備】		【非管理区域換気空調設備】	
61	建屋排風機	70	蒸気温水槽
62	工程室排風機	71	蒸気温水槽ポンプ
63	グローブボックス排風機	201	可搬型重大事故等対処設備-1
64	建屋排気フィルタユニット (C1系)	202	可搬型重大事故等対処設備-2
65	建屋排気フィルタユニット (C2系)	203	可搬型重大事故等対処設備-3
66	グローブボックス排気フィルタユニット		
67	工程室排気フィルタユニット		
68	窒素循環ファン		
69	窒素循環冷却器		
【冷却水設備】			
81	焼結炉系冷水熱交換器		
82	焼結炉系冷水ポンプ	Q-401~404	屋内消火栓
83	焼結炉系冷水用配管槽	Q-407~410	
84	焼結炉系純水製造装置		

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。

燃料加工建屋に設置するSG設備 地下1階 (4/7)

- NDAおよび放射線モニタ
- 査察現場キャビネット (LC)
- フロアスイッチ (FS)
- 光接続箱
- アクセスルート

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

点検用歩廊 (機電側)

点検用歩廊 (建築側)

フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)

全体機器配置図 平面図

地下1階 (EL+50.3M)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
[共通設備]	
1	入出庫クレーン
[梱包・出荷 工程設備]	
11	容器移載装置
12	貯蔵梱包クレーン
13	輸送用容器
14	しゃへい蓋/しゃへい蓋支持架台
15	容器蓋取付装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
[電力供給設備]	
21	非常用内電源設備 (非常用ガスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
[放射線管理設備]	
31	放射能試料自動測定装置
32	α線用核種分析装置
33	γ線用核種分析装置
34	多試料型放射能測定装置
35	液体シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入退域管理装置
38	退出モニタ (体表面モニタ)
39	出入監視器-1
43	出入管理計算機サーバ端末-1
44	出入管理計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (回収槽)
52	器具乾燥棚
53	乾燥棚
54	簡易型入退域管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (特設設置)
58	出入監視器-2
[液体商業設備]	
71	実験台
72	全窒素分析装置
73	ドラフトチャンパー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管室用空調機器ドレン回収槽
[ユーティリティ設備 (ガス消火設備)]	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット、選択弁ユニット
[ユーティリティ設備 (ガス供給設備)]	
111	水素-アルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素-アルゴン混合ガス設備 (ガスパネルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
Q-501~514	屋内消火栓

- NDAおよび放射線モニタ
- 査察現場キャビネット (LC)
フロアスイッチ (FS)
光接続箱
- アクセスルート

8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700
85800

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

燃料加工建屋に設置するSG設備 地上1階 (5/7)

日本原燃株式会社 燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上1階 (EL+56.8M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。



階層	0.8以下	6以下	25以下	200以下	2000以下	20000以下
記号	▽▽▽▽	▽▽	▽	▽	▽	▽

三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
[電力供給設備]	
1	電力供給設備
2	給気ファン
4	排気ファン
5	給気フィルタユニット
[管理区域気体廃棄・換気空調設備]	
11	給気フィルタユニット
12	送風機
13	C1,C2系コイルユニット
14	加湿系コイルユニット
15	C3系コイルユニット
16	冷却系コイルユニット
17	冷却水系膨張槽
18	循環空素冷却用冷凍機
19	循環空素冷却用冷水ポンプ
20	ローカルクーラ用冷凍機
21	ローカルクーラ用冷水ポンプ
23	ローカルクーラ冷水系膨張槽
[非管理区域換気空調設備]	
31	非管理区域外調機
32	非管理区域給気フィルタユニット
33	非管理区域排風機
34	空調用蒸気安全弁サイレンサ
[非常用電気]	
46	非常用電気A室送風機
47	非常用電気A室排風機
[非常用電気B室]	
49	非常用電気B室送風機
50	非常用電気B室排風機
[非常用電気C室]	
52	非常用電気C室排風機
[非常用電気D室]	
54	非常用電気D室排風機
[非常用電気E室]	
56	非常用電気E室送風機
57	非常用電気E室排風機
58	非常用電気E室送風機
59	非常用電気E室給気フィルタユニット
[固体廃棄設備]	
61	角型容器A
62	ドラム缶
63	フォークリフト
64	廃棄物保管設備垂直搬送機
[共通設備]	
104	南第3ハッチ
105	設備搬入口電動ハッチ
106	高脚室電動ハッチ
107	輸送容器検査室電動ハッチ
[圧縮空気供給設備]	
121	呼吸用空気貯槽
[燃料棒加工工程設備]	
131	燃料棒受入一時保管エリア
[GB消火設備]	
[ドレン設備]	
151	掃除用流し
[可搬型重大事故等対処設備]	
161	可搬型重大事故等対処設備-4
162	可搬型重大事故等対処設備-5
163	可搬型重大事故等対処設備-6
164	可搬型重大事故等対処設備-7
Q-601-607	屋内消火栓

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+62.8Mを示す。

: 点検用歩廊 (機電側)
 : 点検用歩廊 (建築側)
 : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上2階 (EL+62.8M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせで設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。

燃料加工建屋に設置するSG設備 地上2階 (6/7)



10 11 12
 三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
[梱包・出荷工程設備]	
1	梱包天井クレーン
2	保管室天井クレーン
[共通設備]	
11	設備搬入用クレーン
[管理区域気体廃棄・換気空調設備]	
21	冷却塔
[非管理区域換気空調設備]	
31	常用電気第1室パッケージ屋外機
32	非管理区域マルチパッケージ屋外機
33	監視室等マルチパッケージ屋外機

11300
 10000
 9800
 10300
 84800
 10300
 9800
 10500
 12800

南第3階段室 651
 南第2階段室 1152
 南第2付室 702
 南エレベータ機械室 703
 設備搬入口前室(上部) 1619

9700 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700
 85800

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

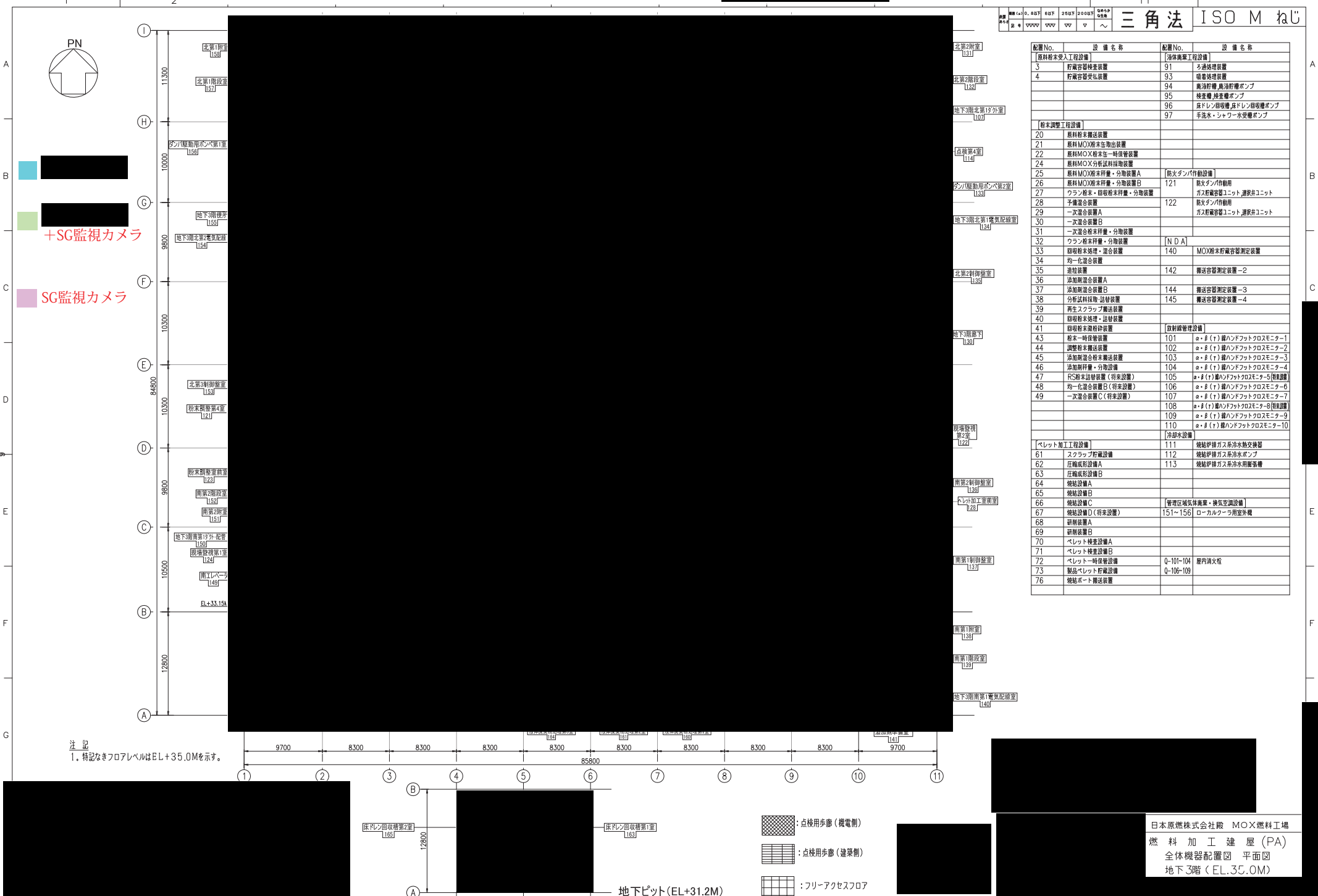
注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+70.2Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
 - : 点検用歩廊 (建築側)
 - : フリーアクセスフロア
- 本資料の一部には、核物質防護上の機密事項が含まれている場合がありますので、第三者への開示はしないでください。

日本原燃株式会社 莫 MOX燃料工場
 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 塔屋階 (FL.70.2M)

注) 一時的に設置する設備・装置は除く。また、現場合わせて設置場所が確定する監視カメラ、IDカメラ等も本図から除く。

燃料加工建屋に設置するSG設備 塔屋階 (7/7)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設置名称
原料粉未受入工程設備			
3	貯蔵容器検査装置	91	ろ過処理装置
4	貯蔵容器受払装置	93	吸着処理装置
		94	炭浴貯槽、炭浴貯槽ポンプ
		95	検査槽、検査槽ポンプ
		96	床ドレン回収槽、床ドレン回収槽ポンプ
		97	手洗い・シャワー水受槽ポンプ
粉未調整工程設備			
20	原料粉未搬送装置		
21	原料MOX粉未取出装置		
22	原料MOX粉未一時保管装置		
24	原料MOX分析試料採取装置		
25	原料MOX粉未秤量・分取装置A	防火ダンパ作動設備	
26	原料MOX粉未秤量・分取装置B	121	防火ダンパ作動用
27	ウラン粉未・回収粉未秤量・分取装置		ガス貯蔵容器ユニット 選択弁ユニット
28	予備混合装置	122	防火ダンパ作動用
29	一次混合装置A		ガス貯蔵容器ユニット 選択弁ユニット
30	一次混合装置B		
31	一次混合粉未秤量・分取装置		
32	ウラン粉未秤量・分取装置	[N D A]	
33	回収粉未処理・混合装置	140	MOX粉未貯蔵容器測定装置
34	均一化混合装置		
35	選粒装置	142	搬送容器測定装置-2
36	添加剤混合装置A		
37	添加剤混合装置B	144	搬送容器測定装置-3
38	分析試料採取・送替装置	145	搬送容器測定装置-4
39	再生スクラップ搬送装置		
40	回収粉未処理・送替装置		
41	回収粉未微粉砕装置		飲料管理設備
43	粉未一時保管装置	101	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-1
44	調整粉未搬送装置	102	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-2
45	添加剤混合粉未搬送装置	103	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-3
46	添加剤秤量・分取設備	104	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-4
47	RS粉未送替装置 (将来設置)	105	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-5 (仮設置)
48	均一化混合装置B (将来設置)	106	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-6
49	一次混合装置C (将来設置)	107	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-7
		108	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-8 (仮設置)
		109	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-9
		110	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-10
ペレット加工工程設備			
61	スクラップ貯蔵設備	111	焼結炉排ガス系冷水熱交換器
62	圧縮成形設備A	112	焼結炉排ガス系冷水ポンプ
63	圧縮成形設備B	113	焼結炉排ガス系浄水用圧縮機
64	焼結設備A		
65	焼結設備B		
66	焼結設備C (将来設置)	管理区域気体循環・換気空調設備	
67	焼結設備D (将来設置)	151~156	ローカルクーラ用室外機
68	研削装置A		
69	研削装置B		
70	ペレット検査設備A		
71	ペレット検査設備B		
72	ペレット一時保管設備	0-101-104	屑内消火栓
73	製品ペレット貯蔵設備	0-106-109	
76	焼結ポート搬送装置		

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+35.0Mを示す。

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階 (EL.35.0M)

燃料加工建屋 (地下3階)



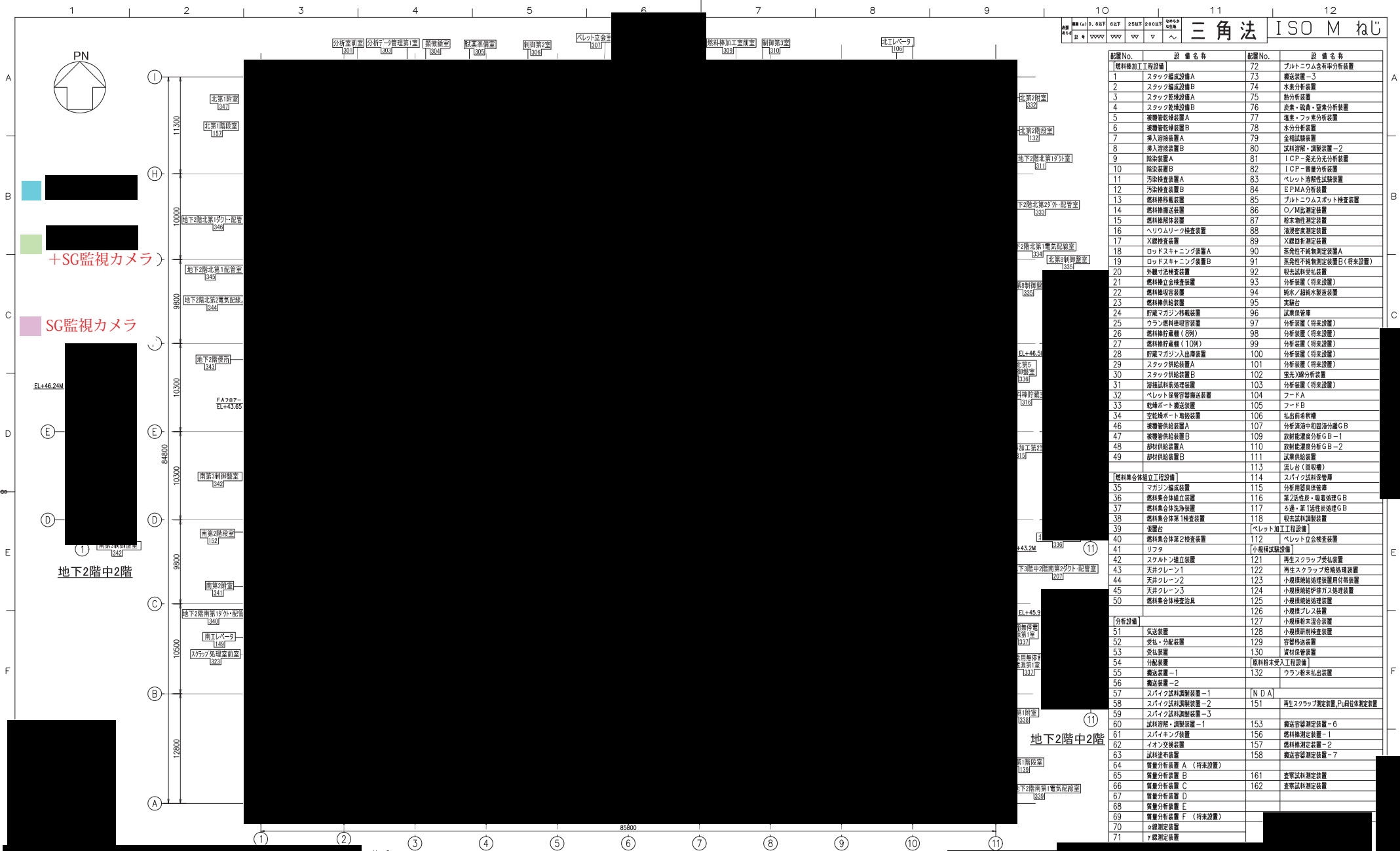
配置No.	設備名称
[原料粉未受入工程設備]	
1	測速搬送台車
2	保管室クレーン
3	一時待機ピット
5	受渡ピット
6	受渡天井クレーン
[粉未調整工程設備]	
12	原料粉未搬送装置
[ペレット加工工程設備]	
14	プレス装置A(粉未調整部)
15	プレス装置B(粉未調整部)
16	焼結ポート搬送装置
17	ペレット保管容器搬送装置
18	空焼結ポート取脱装置
19	回収粉未容器搬送装置
20	焼結炉A排ガス処理装置
21	焼結炉B排ガス処理装置
22	焼結炉C排ガス処理装置
[N D A]	
30	搬送容器測定装置-8
31	搬送容器測定装置-5
32	搬送容器測定装置-9
[浴槽構築工程設備]	
51	手洗水・シャワー水受槽
[防火ダンパ作動設備]	
61	防火ダンパ作動用運転弁ユニット
62	防火ダンパ作動用運転弁ユニット
Q-202	屋内消火栓

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+38.3Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電制)
- : 点検用歩廊 (建築制)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階中2階 (EL.38.3M)

燃料加工建屋 (地下3階中2階)



配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
1	燃料集合体組立工程設備	72	プルトニウム含有率分析装置
2	スタック編成設備A	73	搬送装置-3
3	スタック編成設備B	74	水素分析装置
4	スタック乾燥設備A	75	熱分析装置
5	スタック乾燥設備B	76	炭素・鉄素・窒素分析装置
6	破砕機供給装置A	77	塩素・フッ素分析装置
7	破砕機供給装置B	78	水分分析装置
8	排入供給装置A	79	全炭分析装置
9	排入供給装置B	80	試料溶解・調整装置-2
10	除染装置A	81	ICP-発光分光分析装置
11	除染装置B	82	ICP-質量分析装置
12	汚染検査装置A	83	ベレット溶解性試験装置
13	汚染検査装置B	84	EPMA分析装置
14	燃料集合体移送装置	85	プルトニウムスポット検査装置
15	燃料集合体移送装置	86	O/M比測定装置
16	燃料集合体移送装置	87	結晶性測定装置
17	ヘリウムリーク検査装置	88	清浄度測定装置
18	Y線検査装置	89	X線目視測定装置
19	ロッドスキミング装置A	90	放射性不純物測定装置A
20	ロッドスキミング装置B	91	放射性不純物測定装置B(将来設置)
21	外観計測検査装置	92	吸気試験受払装置
22	燃料集立検査装置	93	分析装置(将来設置)
23	燃料集立検査装置	94	吸気試験受払装置
24	燃料集立検査装置	95	実験台
25	貯蔵マガジン移動装置	96	試薬保管庫
26	ウラン燃料集立検査装置	97	分析装置(将来設置)
27	燃料集立検査装置(10例)	98	分析装置(将来設置)
28	燃料集立検査装置(10例)	99	分析装置(将来設置)
29	貯蔵マガジン入出装置	100	分析装置(将来設置)
30	スタック供給装置A	101	分析装置(将来設置)
31	スタック供給装置B	102	窒素X線分析装置
32	溶解試験前処理装置	103	分析装置(将来設置)
33	乾燥ポート搬送装置	104	フードA
34	乾燥ポート搬送装置	105	フードB
35	空乾燥ポート取扱装置	106	払出前受取機
36	破砕機供給装置A	107	分析済液中印固液分離GB
37	破砕機供給装置B	109	放射能濃度分析GB-1
38	破砕機供給装置A	110	放射能濃度分析GB-2
39	破砕機供給装置B	111	試薬供給装置
40	燃料集立検査装置	112	洗し台(回収機)
41	リフト	113	洗し台(回収機)
42	スクリーン組立装置	114	スライク試験保管庫
43	天井クレーン1	115	分析用器具保管庫
44	天井クレーン2	116	第2活性炭・吸着処理GB
45	天井クレーン3	117	ろ過・第1活性炭処理GB
46	燃料集立検査装置	118	吸気試験調製装置
47	燃料集立検査装置	119	ベレット加工工程設備
48	燃料集立検査装置	120	燃料集立検査装置
49	燃料集立検査装置	121	ベレット立合検査装置
50	燃料集立検査装置	122	再生スクラップ受払装置
51	燃料集立検査装置	123	再生スクラップ処理装置
52	燃料集立検査装置	124	小規模焼結炉ガス処理装置
53	燃料集立検査装置	125	小規模焼結炉ガス処理装置
54	燃料集立検査装置	126	小規模プレス装置
55	燃料集立検査装置	127	小規模未混合装置
56	燃料集立検査装置	128	小規模研削検査装置
57	燃料集立検査装置	129	容器移送装置
58	燃料集立検査装置	130	資材保管装置
59	燃料集立検査装置	131	燃料集立検査装置
60	燃料集立検査装置	132	燃料集立検査装置
61	燃料集立検査装置	133	燃料集立検査装置
62	燃料集立検査装置	134	燃料集立検査装置
63	燃料集立検査装置	135	燃料集立検査装置
64	燃料集立検査装置	136	燃料集立検査装置
65	燃料集立検査装置	137	燃料集立検査装置
66	燃料集立検査装置	138	燃料集立検査装置
67	燃料集立検査装置	139	燃料集立検査装置
68	燃料集立検査装置	140	燃料集立検査装置
69	燃料集立検査装置	141	燃料集立検査装置
70	燃料集立検査装置	142	燃料集立検査装置
71	燃料集立検査装置	143	燃料集立検査装置

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+43.2Mを示す。

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
191	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-11	197	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-17	201~209	管理区域低気圧・換気調整設備
192	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-12	198	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-18		ローカルアラーム受検機
193	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-13	199	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-19		
194	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-14				
195	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-15			0-301~304	屋内消火栓
196	α・β (γ) 線ハンドファクトクロスモニター-16	171	南第1電動ハッチ	0-306~309	

- :点検用歩廊(機電制)
- :点検用歩廊(建築制)
- :フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下2階 (FL+43.2M)

燃料加工建屋 (地下2階)



配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
燃料集合体組立工程設備			
1	燃料集合体立合検査装置	93	固体廃棄物選別装置
2	燃料集合体用貯蔵チャンネル	95	分析スクラップ後管GB(将来設備)
		97	フォークリフト
		98	封入容器保管槽
		99	分析スクラップ後管GB(将来設備)
梱包・出荷 工程設備			
12	燃料ホルダ取付装置		
13	搬立クレーン		電力供給設備
14	輸送容器点検架台	100	燃料移送ポンプ
15	梱包準備室天井クレーン1	101	燃料油貯蔵タンク
16	梱包準備室天井クレーン2		
17	電動式搬送路しゃべい席		
18	梱包室保守用天井クレーン		
放射線管理設備			
		121	排気用サンプリング
		122	サンプリングポンプユニット
		123	α・β(γ)線ハンドアウトクロスモニター
燃料精加工工程設備			
21	オートクレープ試験機		
22	バース試験機		
23	全相試験設備		
24	洗し台(自吸槽)		
燃料粉末受入工程設備			
		151	燃料集合体測定装置
		152	固体廃棄物測定装置-1
41	ウラン粉末受入 出庫装置	153	固体廃棄物測定装置-2
42	ウラン粉末受入 移載装置		
43	ウラン貯蔵槽		
44	ウラン粉末受入 移載装置		
45	ウラン粉末受入 搬送容器一時保管エリア		共通設備
		171	南第2電動ハッチ
管理区域 換気空調設備			
			空室消火設備
61	給排気機	181	固定式ガス滅火 消火ガス貯蔵容器ユニット、減圧装置ユニット
62	工程室排気機	182	GB消火 消火ガス貯蔵容器ユニット、選別ユニット
63	グローブボックス排気機	183	選別ガス貯蔵容器 消火ガス貯蔵容器ユニット、選別ユニット
64	給排気フィルタユニット(C1系)		
65	給排気フィルタユニット(C2系)		
66	グローブボックス排気フィルタユニット		
67	工程室排気フィルタユニット		
68	空室循環ファン		
69	空室循環冷却器		
空室停止タンク駆動設備			
		191	強制停止タンク作動用ガス貯蔵容器ユニット
非管理区域 換気空調設備			
			可搬型重大事故等対処設備
70	蒸気器水櫃	201	可搬型重大事故等対処設備-1
71	蒸気器水櫃ポンプ	202	可搬型重大事故等対処設備-2
		203	可搬型重大事故等対処設備-3
冷却設備			
81	焼結炉系冷水熱交換器		
82	焼結炉系冷水ポンプ	0-401-404	屋内消火栓
83	焼結炉系冷水用膨張槽	0-401-410	
84	焼結炉系純水製造装置		

+SG監視カメラ
 SG監視カメラ
 SG監視カメラ
 :点検用歩廊(機電制)
 :点検用歩廊(建築制)
 :フリーアクセスフロア

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
 燃料加工建屋(PA)
 全体機器配置図 平面図
 地下1階(FL+50.3M)

燃料加工建屋 (地下1階)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
【共通設備】	
1	入出庫クレーン
【梱包・出荷 工程設備】	
11	容器移動装置
12	貯蔵梱包クレーン
13	輸送用容器
14	しゃい童/しゃい童支持装置
15	容器置取付装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
【電力供給設備】	
21	非常用所内電源設備 (非常用バスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
【放射線管理設備】	
31	放射能試料自動測定装置
32	α線用検体分析装置
33	γ線用検体分析装置
34	多試料型放射能測定装置
35	液体シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入出庫管理装置
38	進出モニタ (体表面モニタ)
39	出入監視窓-1
43	出入管理計算機サーバ端末-1
44	出入管理計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (目録機)
52	器具乾燥機
53	乾燥機
54	搬送型入出庫管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (搬送機)
58	出入監視窓-2
【溶体廃棄設備】	
71	実験台
72	全量分析装置
73	ドラフトチャンバー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管用空温機器 ドレン回収機
【ユーティリティ設備 (ガス消火設備)】	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット 選択弁ユニット
【ユーティリティ設備 (ガス供給設備)】	
111	水素-フルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素-フルゴン混合ガス設備 (ガスバルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
0-501-514	屋内消火栓

+SG監視カメラ

SG監視カメラ

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電制)
- : 点検用歩廊 (建築制)
- : フリーアクセスフロア

燃料加工建屋 (地上1階)

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地上1階 (EL+56.8M)



配機No.	設備名称
【電力供給設備】	
2	給気ファン
4	排気ファン
5	給気フィルタユニット
【管理区域気体廃棄・換気空調設備】	
11	給気フィルタユニット
12	送風機
13	C1,C2系コイルユニット
14	加温系コイルユニット
15	C3系コイルユニット
16	冷却系 コイルユニット
17	冷却水系配管機
18	循環空素冷却用冷凍機
19	循環空素冷却用冷水ポンプ
20	ローカルクーラ用冷凍機
21	ローカルクーラ用冷水ポンプ
23	ローカルクーラ冷水系配管機
【非管理区域換気空調設備】	
31	非管理区域外調機
32	非管理区域給気フィルタユニット
33	非管理区域排風機
34	空調用低気安全弁サイレンサ
【非常用電気A送風機】	
46	非常用電気A送風機
47	非常用電気A送風機
【非常用電気B送風機】	
49	非常用電気B送風機
50	非常用電気B送風機
【非常用電気C送風機】	
52	非常用電気C送風機
54	非管理区域排風機
【中央監視室排風機】	
56	中央監視室排風機
57	非管理区域送風機
58	中央監視室送風機
59	中央監視室給気フィルタユニット
【固体廃棄設備】	
61	角型容器A
62	ドラム缶
63	フォークリフト
64	廃棄物保管設備搬送機
【共通設備】	
104	箱蓋3ハッチ
105	設備出入口電動ハッチ
106	箱蓋電動ハッチ
107	輸送容器検査室電動ハッチ
【圧縮空気供給設備】	
121	呼吸用空気貯槽
【燃料棒加工工程設備】	
131	燃料棒受入一時保管エリア
【G B消火設備】	
【ドレン設備】	
151	掃除用流し
【可搬型重大事故等対応設備】	
161	可搬型重大事故等対応設備-4
162	可搬型重大事故等対応設備-5
163	可搬型重大事故等対応設備-6
164	可搬型重大事故等対応設備-7
Q-601~607	屋内消火栓

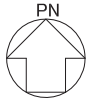
■ SG監視カメラ
 ■ SG監視カメラ

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+62.8Mを示す。

■ :点検用歩廊(機電制)
 ■ :点検用歩廊(建築制)
 ■ :フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 料 加 工 建 屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 地上2階 (EL.62.8M)

燃料加工建屋 (地上2階)



11300
 10000
 9800
 10300
 84800
 10300
 9800
 10500
 12800

南第3階投室 1551
 南第2階投室 1552
 南第2階室 1552
 南エレベータ機室 1558
 監視室入口前室(上) 1519

9700 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

配置No.	設備名称
[機位・出荷工設備]	
1	梱包天井クレーン
2	保管室天井クレーン
[共通設備]	
11	設備搬入用クレーン
[管理区域気体濃度・換気空調設備]	
21	冷却塔
[非管理区域換気空調設備]	
31	常用電気室1室パッケージ型外機
32	非管理区域マルチパッケージ型外機
33	監視室等マルチパッケージ型外機



+SG監視カメラ



SG監視カメラ

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+70.2Mを示す。

- :点検用歩廊(機電制)
- :点検用歩廊(建築制)
- :フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 塔屋階 (EL 70.2M)

燃料加工建屋 (塔屋階)

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
262	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(被覆管取扱部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
263	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(スタック取扱部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
264	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置(燃料棒溶接部)グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
265	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	挿入溶接装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
266	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	除染装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
267	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	除染装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
268	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	汚染検査装置オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
269	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	挿入溶接設 備	—	—	—	汚染検査装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
270	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	ヘリウムリーク検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
271	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	γ線検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG PP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁 を開放時等で設置されている遮光材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
272	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>ロッドスキヤニング装置は、メンテナンスに影響がない ██████████ の設置計画箇所のスペースを確保する設計とする。 ██████████ の付近にはロッドスキヤニング装置のローラコンベアがあるが、ローラコンベアは上側からアクセスすることでメンテナンスに影響はない。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする(SG: ██████████)。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造(封印カバー等)とする。(SG: ██████████)</p>	②	
273	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>外観寸法検査装置と ██████████ は直線距離で離隔されておりメンテナンスに影響はない設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする(SG: ██████████)。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造(封印カバー等)とする。(SG: ██████████)</p>	②	
274	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※ゾートは 安重	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p>	—
275	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※ゾートは 安重	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p>	—
276	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ PP ██████████	<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている ██████████ の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p>	—
277	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OSG ██████████ SG ██████████ PP ██████████	<p>燃料棒検査装置は、メンテナンスに影響がない ██████████ の設置計画箇所のスペース(燃料棒検査装置のメンテナンスが必要なスペース)を確保する設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする(SG: ██████████)。</p> <p>・安全機能を有する施設の運転に影響しないように安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。</p> <p>・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>【メンテナンス時】</p> <p>・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)</p> <p>・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、誤挿しにくい構造(封印カバー等)とする。(SG: ██████████)</p>	③	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	D B区分	S A区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足																
278	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	—	—	—	—	—	—	燃料棒供給装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全 ※	—	—	※ゲートは 安全	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████ が ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・燃料棒供給装置は、メンテナンスに影響がない 設計計画のスペース(燃料棒供給装置 のメンテナンスが必要なスペース)を確保する 設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備) ・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備 を不用意に破損することがない配置とする。また、 必要に応じて、誤用しにくい構造(封印カバー等) とする。(SG, ██████)	③							
279	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	—	—	—	—	—	—	貯蔵マガジン移動装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—								
280	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	燃料棒投入オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—								
281	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	燃料棒解体装置グロブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	OSG ██████ OSG ██████ OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG 設備)	—								
282	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	燃料棒解体装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
283	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	溶接試料前処理装置オープンポートボッ クス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—						
284	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	溶接試料前処理装置グロブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	OPP ██████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することはないこと、壁 を開放時等で設置されている ██████ の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用= 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—						
285	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	—	—	—	—	—	—	溶接試料前処理装置	—	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時、メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
322	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	燃料集合体取置台	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	—
323	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 検査設備	—	—	燃料集合体立会検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—
324	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬送設備	—	—	組立クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—
325	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬送設備	—	—	リフト	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OSG: 査察現場キャビネット (LC-21B, LC-21A) OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保できる設計とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出限界の原料検査を検出可能な設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	⑦
326	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工程	梱包・出荷設備	—	—	貯蔵梱包クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保できる設計とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出限界の原料検査を検出可能な設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG-) ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	⑧
327	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工程	梱包・出荷設備	—	—	燃料ホルダ取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	OSG	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、離断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(SG設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP,SG設備設置状況	PP,SG設備の設計方針	通常時、メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮 (PP,SG)	補足		
328	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	容器蓋取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B/-	—	—	—	OSG ██████████ OSG ██████████ OSG ██████████ OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時及びメンテナンス時に装置設備に干渉し ないスペースを確保できる設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	⑤
329	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	梱包天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	—	OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
330	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	容器移動装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	—	OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
331	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	保管室天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
332	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包・出荷 設備	—	—	—	遮蔽扉(梱包・出荷設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
333	核燃料物質 の貯蔵施設	—	貯蔵容器一 時保管設備	—	—	—	—	一時保管ピット	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-3/-	—	—	—	OSG ██████████	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(SG設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(SG設備)	—	
336	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管装置グローブボック ス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	安全	—	S/-	—	—	—	OPP ██████████	・周辺機器への波及的影響を及ぼさない よう落下及び転倒範囲に上位クラス機器 が入らない場所に設置する又は落下防止 措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の 際、各部屋の照明を消灯することがないこと、整 扉を開放時等で設置されている監視カメラの視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時に おいても継続的に給電される設計とする。(PP設 備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが 確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難 な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を 有する施設のメンテナンススペースが確保する。 (PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続し て給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
337	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管装置	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-2	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/-	—	—	—	—	—	—	—	—	—
338	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末出一時保 管設備	—	—	—	—	原料MOX粉末出一時保管搬送装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	B-1, B-2/ —	—	—	—	—	—	—	—	—	—
339	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン貯蔵棚	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	B-1/-	—	—	—	—	—	—	—	—	—
340	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン粉末出入庫装置	—	燃料加工建屋	128	2-2	新設	非安全	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—	—	—
341	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	ウラン粉末出入庫装置	—	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—	—	—
342	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ウラン貯蔵 設備	—	—	—	—	収納パレット	—	燃料加工建屋	676	2-2	新設	非安全	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
367	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(1缶バケット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
368	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(CS-RS保管ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1944	2-1	新設	非安全	—	—/—	注: 粉末一時保管設備 主: スクラップ貯蔵設備	—	—	—	—	—	—	—
369	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(CS-RS回収ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
370	核燃料物質の貯蔵施設	粉末一時保管設備	容器(先試験ポット)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—
371	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
372	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
373	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
374	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用-1	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
375	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用-2	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
376	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用-3	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—
377	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—
378	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安全	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—
379	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
380	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	
381	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	ベレット一時保管用グローブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安全	—	S/—	—	—	—	OPP ■■■	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用・運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
382	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置グロブボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>██████████は、ミクラスとなるグロブボックスに波及的影響を及ぼさないよう、標準地震動Ssの地震力にて、影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>██████████は、周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・通常時においては、近接しているグロブボックスに対して、干渉しない設計とする。</p> <p>・焼結ボート受渡装置グロブボックスの本体及び内装機器の点検、保守を行う上で、██████████は干渉しない配置設計としているため、査察機器の機能を損なうことはない。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	⑧
383	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
384	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
385	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-3	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
386	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-4	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
387	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-5	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
388	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-6	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
389	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-7	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
390	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	焼結ボート受渡装置-8	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
391	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	収納パレット-1	運搬・製品容器	燃料加工建屋	188	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
392	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	収納パレット-2	運搬・製品容器	燃料加工建屋	4	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
393	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	192	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
394	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(先行試験焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	3	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
395	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(スクラップ焼結ボート)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	6	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
396	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	容器(規格外ベレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	10 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-
397	核燃料物質の貯蔵施設	ベレット一時保管設備	遮蔽扉(ベレット一時保管設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	2	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-
398	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
399	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
400	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-
401	核燃料物質の貯蔵施設	スクラップ貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚グロブボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG ██████████ CPP ██████████	<p>・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。</p> <p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p>	<p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている██████████の視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設の影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) 監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) <p>【メンテナンス時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用+運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) 	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
402	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【保守時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
403	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
404	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-2	ラック/ビット/棚	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
405	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-3	ラック/ビット/棚	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
406	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-4	ラック/ビット/棚	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
407	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ貯蔵棚-5	ラック/ビット/棚	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	B-1, B-2, B-3/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
408	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器入出庫装置	搬送設備	燃料加工棟	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
409	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・通常時においては、近接しているグループボックスに対して、干渉しない設計とする。 ・スクラップ保管容器受渡装置グループボックスの本体及び内装機器の点検、保守を行う上で、は干渉しない配置設計としているため、検査機器の機能を損なうことはない。 ・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【保守時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
410	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【保守時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
411	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-1	搬送設備	燃料加工棟	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
412	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	スクラップ保管容器受渡装置-2	搬送設備	燃料加工棟	1	2-1	新設	非安重	-	B-1, B-2/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
413	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	収納パレット	運搬・製品容器	燃料加工棟	210	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
414	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(パレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工棟	297 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
415	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(9出バスケット)	運搬・製品容器	燃料加工棟	204	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
416	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(規格外パレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工棟	10	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
417	核燃料物質 の貯蔵施設	スクラップ 貯蔵設備	容器(CS-RS保管ポット)	運搬・製品容器	燃料加工棟	1944 ※	2-1	新設	非安重	-	-/-	-	-	-	-	-	-	-	-	
418	核燃料物質 の貯蔵施設	製品パレット 貯蔵設備	製品パレット貯蔵棚グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【保守時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
419	核燃料物質 の貯蔵施設	製品パレット 貯蔵設備	製品パレット貯蔵棚グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-1	新設	安重	-	S/-	-	-	-	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【保守時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
420	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚グループボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—	
421	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚グループボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—
422	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚グループボックス-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—
423	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
424	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚-2	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
425	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚-3	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
426	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚-4	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
427	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	製品ベレット貯蔵棚-5	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B-1, B-2, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
428	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	ベレット保管容器受渡装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
429	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	ベレット保管容器受渡装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—
430	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	ベレット保管容器受渡装置グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	OSG CPP	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—
431	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	ベレット保管容器受渡装置-1	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
432	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	ベレット保管容器受渡装置-2	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	—	B-1, B-2/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
433	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	収納パレット	運搬・製品容器	燃料加工建屋	350	2-1	新設	非安重	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
434	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	容器(ベレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	297	2-1	新設	非安重	—	—/—	注: 製品ベレット貯蔵設備 付: スクラップ貯蔵設備	—	—	—	—	—	—	—	—	
435	核燃料物質 の貯蔵施設	—	製品ベレット貯蔵設備	—	—	—	容器(ベレット保管容器)	運搬・製品容器	燃料加工建屋	53	2-1	新設	非安重	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
436	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料種貯蔵設備	—	—	—	燃料種貯蔵棚-1	ラック/ビット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B, B-3/—	—	—	—	—	—	OSG CPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸垂ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている機器の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分						機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足		
437	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	燃料棒貯蔵機-2	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	新設	安重	—	B, B-3/—	—	—	—	—	OSG — CPP —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている 〇 の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	—	
438	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	貯蔵マガジン入出庫装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	新設	非安重	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG — CPP —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている 〇 の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	—
439	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	クラン燃料棒収容装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	OSG — CPP — SG —	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンスの際に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤の扉を開放時等で設置されている 〇 の視界を遮らない計画とする。	クラン燃料棒収容装置は、 〇 の設置計画箇所にはメンテナンス品が存在しないことから、影響は無い設計となっている。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(〇)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(〇)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	①
440	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	—	遮蔽層(燃料棒貯蔵設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	OSG — CPP — SG —	主: 燃料棒貯蔵設備 従: 火災防護設備	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、懸吊ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	遮蔽層(燃料棒貯蔵設備)は、 〇 が設置できるスペースを確保する設計とする。なお、 〇 が遮蔽層の下に設置される場合、下方には遮蔽層の駆動部やレール、センサが設置されていることからメンテナンスを考慮した設計を具体化する。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(〇)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転条件(搬送する核物質、搬送速度等)で、保護措置上要求される検出境界の放射線量を検出可能な設計とする(〇)。 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備)	①
441	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	燃料集合体貯蔵チャンネル	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	220	2-2	新設	安重	—	B-1, B-3/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
442	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	遮蔽蓋(燃料集合体貯蔵設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	265	2-2	新設	非安重	—	—/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
443	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料集合体 貯蔵設備	—	—	—	遮蔽蓋支持架台	遮蔽設備	燃料加工建屋	4	2-2	新設	非安重	—	B/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
448	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	主配管(常設)(建屋排気系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
449	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	C1区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
450	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	C2区域用建屋排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	23	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
451	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	建屋排気機	ファン	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安重	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
452	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	主配管(常設)(工程室排気系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	安重/非安重	—	S/— C/—※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
453	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	11	2-2	新設	安重	—	S/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
454	放射性廃棄物 の廃棄施設	—	気体廃棄物 の廃棄設備	—	—	—	工程室排気機	ファン	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安重	—	C/—※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況		通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足	
455	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
456	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
457	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
458	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
459	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
460	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
461	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	グループボックス排気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
462	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	給気設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
463	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
464	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
465	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	窒素循環設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
466	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	排気筒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
467	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況		通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足	
		放射線 廃棄物の 廃棄設備	気体廃棄物 の廃棄設備	外部放出 抑制設備	—	—													—	—				—
468	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	燃料加工建屋	8 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
469	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気フィルタ	フィルタ	燃料加工建屋	16 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
470	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	9 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
471	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	主配管 (常設) (外部放出抑制系 (工程室))	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
472	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気フィルタユニット	フィルタ	燃料加工建屋	11 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
473	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気機入口手動ダンパ	—	燃料加工建屋	2 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
474	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気機入口手動ダンパ	—	燃料加工建屋	2 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: 工程室排気設備 従: 外部放出抑制設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
475	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	グローブボックス排気閉止ダンパ	—	燃料加工建屋	2	2-2	新設	—	常設	—/(S)※	主: 外部放出抑制設備 従: グローブボックス排気設備の主配管の一部 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
476	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	外部放出抑制設備	—	—	工程室排気閉止ダンパ	—	燃料加工建屋	2	2-2	新設	—	常設	—/(C)※	主: 外部放出抑制設備 従: 工程室排気設備の主配管の一部 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、工程室排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
478	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	主配管 (常設) (代替グローブボックス排気系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
479	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス給気フィルタ	フィルタ	燃料加工建屋	8 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
480	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	代替グローブボックス排気設備	—	—	グローブボックス排気フィルタ	フィルタ	燃料加工建屋	16 ※	2-2	新設	—	常設	—/1.2Sa	主: グローブボックス排気設備 従: 外部放出抑制設備 代: 代替グローブボックス排気設備 技術基準規則 第二章「安全機能を有する施設」の適合性は、グローブボックス排気設備にて示す。	—	—	—	—	—	—	—	—
484	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	イオン系廃液検査槽	容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
485	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	イオン系廃液検査槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
486	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	固体系廃液検査槽	容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
487	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	固体系廃液検査槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	
488	放射性廃棄物の廃棄施設	—	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	—	—	ろ過処理オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況		通常時、メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時、メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
		液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	放射線													放射線				
489	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	ろ過処理前槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
490	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	ろ過処理前槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
491	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	第1ろ過処理装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
492	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	第2ろ過処理装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
493	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	精密ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
494	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	限外ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
495	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	ろ過処理後槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
496	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	ろ過処理後槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
497	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
498	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理前槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
499	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理前槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理塔	ろ過装置	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
501	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理後槽	容器	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
502	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	吸着処理後槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
503	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	廃液貯槽	容器	燃料加工棟	3	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
504	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	廃液貯槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
505	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備	低レベル廃液処理設備	主配管(低レベル廃液処理系)	主配管	燃料加工棟	1式	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
575	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気区域構造物及び大気区域構造物(燃料加工棟)	建物・構築物(大気区域構造物及び大気区域構造物)	燃料加工棟	—	1 2-1※	新設	非安全	—	C/(O)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
576	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気区域構造物及び大気区域構造物(貯蔵容器搬送用洞道)	建物・構築物(大気区域構造物及び大気区域構造物)	貯蔵容器搬送用洞道	—	2-1	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
595	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
596	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
597	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
598	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
599	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
600	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
604	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
605	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
606	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	消火設備	消火設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
612	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
613	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
614	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
615	その他の加工施設	非常用設備	大気防護設備	大気影響軽減設備	大気影響軽減設備	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分					機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮 (安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮 (PP, SG)	補足		
		燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備																					
758	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	気送装置	1式	2-1, 2-2, 3-1※, 3-2※	新設	非安全	—	C, C-1/—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—	
759	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—	
760	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払装置	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
761	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	プルトニウムスポット検査装置オープン ポートボックス	1	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
762	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	フード	2	2-2	新設	非安全	—	C/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
763	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	受払・分配装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
764	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—
765	その他の加 工施設	—	燃焼炉物質 の検査設備 及び計量設 備	燃焼炉物質 の検査設備	分析設備	—	—	試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2	1	2-2	新設	非安全	—	B-1/—	—	—	—	—	—	OSG ■ CPP ■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさない よう、原則、遮断ケーブルを採用し、可 燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際 に各部屋の照明を消灯することがないこと、盤 の扉を開放時等で設置されている遮断材の視界 を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう に、安全機能を有する施設との間に十分なクリア ランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時 においても継続的に給電される設計とする。(PP設 備, SG設備)	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分	設備区分	機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回次	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
787	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	質量分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
788	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料受払装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OSG: 差取現場キャビネット OSG OPP S S S	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転(搬送する核物質質量、搬送速度等)で、保障措置上要求される放射線量の放射線量を検出可能な設計とする() ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することはない配置とする。また、必要に応じて、防護措置(封印カバー等)とする。(SG: 遮断ケーブル, LC-20A)	②
789	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料調整装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OSG OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
790	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	分配装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
791	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	塩素・フッ素分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
792	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	0/M比測定装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-
793	その他の加工施設	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	水分分析装置グローブボックス	1	2-2	新設	非安全	-	B-1/-	-	-	-	OPP	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、壁の扉を開放時等で設置されている遮断ケーブルの視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備, SG設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備, SG設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備, SG設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備, SG設備)	-

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分				機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足
			核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備																		
823	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		放射能濃度分析グループボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		B-1/-					<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、遮断を開放時等で設置されている視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)</p>		
824	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		ろ過・第1活性炭処理グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		B-1, B-2/-					<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、遮断を開放時等で設置されている視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)</p>		
825	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭・吸着処理グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		B-1, B-2/-					<p>・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮断ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。</p> <p>・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないこと、遮断を開放時等で設置されている視界を遮らない計画とする。</p>	<p>【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備)</p> <p>【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用=運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)</p>		
826	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		分析済液中和槽	容器	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全		C/-								
827	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		中和ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全		C/-								
828	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		中和ろ過受槽	容器	燃料加工棟屋	2	2-2	新設	非安全		C/-								
829	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		遠心分離処理受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
830	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		遠心分離処理受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
831	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		ろ過処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
832	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		ろ過処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
833	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
834	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2ろ過装置	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
835	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2ろ過処理受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
836	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2ろ過処理受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
837	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
838	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
839	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理第1処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
840	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理第2処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
841	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
842	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第1活性炭処理受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
843	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭処理供給槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
844	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
845	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭処理塔	ろ過装置	燃料加工棟屋	4	2-2	新設	非安全		C/-								
846	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭処理受槽	容器	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								
847	その他の加工施設		核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備		第2活性炭処理受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工棟屋	1	2-2	新設	非安全		C/-								

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分				機器	機種	設置場所	数量	申請時期及び申請回数	変更区分	DB区分	SA区分	耐震設計	兼用(主従)	共用(主従)	備考	PP, SG設備設置状況	PP, SG設備の設計方針	通常時, メンテナンス時における考慮(安全機能を有する施設)	通常時, メンテナンス時における考慮(PP, SG)	補足		
848	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理供給槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
849	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理供給槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
850	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理塔	ろ過装置	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
851	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理液受槽	容器	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
852	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	希釈槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
853	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	吸着処理液受槽ポンプ	ポンプ	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
854	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	払出前希釈槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	○PP ■■■■■	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	・設備の設置、施設や設備のメンテナンス等の際に各部屋の照明を消灯することがないよう、盤の開放時等で設置されている■■■■■の視界を遮らない計画とする。	【通常時】 ・安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。(PP設備) ・盤室が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。(PP設備) 【メンテナンス時】 ・安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保する。(PP設備) ・安全機能を有する施設の定常保守を考慮し、常用・運転予備電源の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。(PP設備) ・安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。(PP設備)	—	—
855	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	主配管(分析液処理系)	主配管	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C※/-	—	—	—	—	—	—	—		
856	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	—	—	運搬台車	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—		
881	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	液体廃棄物処理第3室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	3	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
882	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	液体廃棄物処理第1室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
883	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	床ドレン回収槽第2室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
884	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	床ドレン回収槽第1室サンプ液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
885	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	吸着処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
886	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	ろ過処理オープンポートボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
887	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	分析液中和固液分離グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	4	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
888	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	ろ過・第1活性炭処理グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
889	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	第2活性炭・吸着処理グローブボックス漏えい液受皿液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	2	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
890	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	警報関連設備	—	—	—	払出前希釈槽下部堰内漏えい液位	計装/放管設備(計測装置)	燃料加工建屋	1	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
896	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	冷却水設備	—	—	—	冷却水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
897	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	給排水衛生設備	—	—	—	工業用水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
900	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	空調用冷水設備	—	—	空調用冷水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
901	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	空調用蒸気設備	—	—	空調用蒸気設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
903	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	空調用設備	非管理区域換気空調設備	—	—	非管理区域換気空調設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
904	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	室素循環冷却設備	室素循環冷却用冷水設備	—	—	室素循環冷却用冷水設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
905	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	室素循環冷却設備	室素ガス供給設備	—	—	室素ガス供給設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
913	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	ヘリウムガス設備	—	—	ヘリウムガス設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
914	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	酸素ガス設備	—	—	酸素ガス設備	—	燃料加工建屋	1式	2-2	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
915	その他の加工施設	—	その他の主要な事項	その他ガス設備	圧縮空気供給設備	—	—	圧縮空気供給設備	—	燃料加工建屋	1式	2-1	新設	非安全	—	C/-	—	—	—	—	—	—	—		
924	施設共通	—	—	—	—	—	—	基本設計方針	—	—	—	—	—	—	-/-	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	アクセスルート (PA建屋内)	—	—	—	—	—	—	-/-	—	—	—	○PP ■■■■■ (W1976×D1036×H2032) ○PP ■■■■■ (W700W×D350×H1000) ○PP ■■■■■ (W300×D100×H400) ○PP ■■■■■ (W1500×D300×H300)	・近接■■■が設置されるが、転倒したとしてもアクセスルートに必要な幅が確保できるため、阻害しない なお、■■■■■は、軽量物であり、アクセスルートと照合するものではないため、対象外	—	⑧			

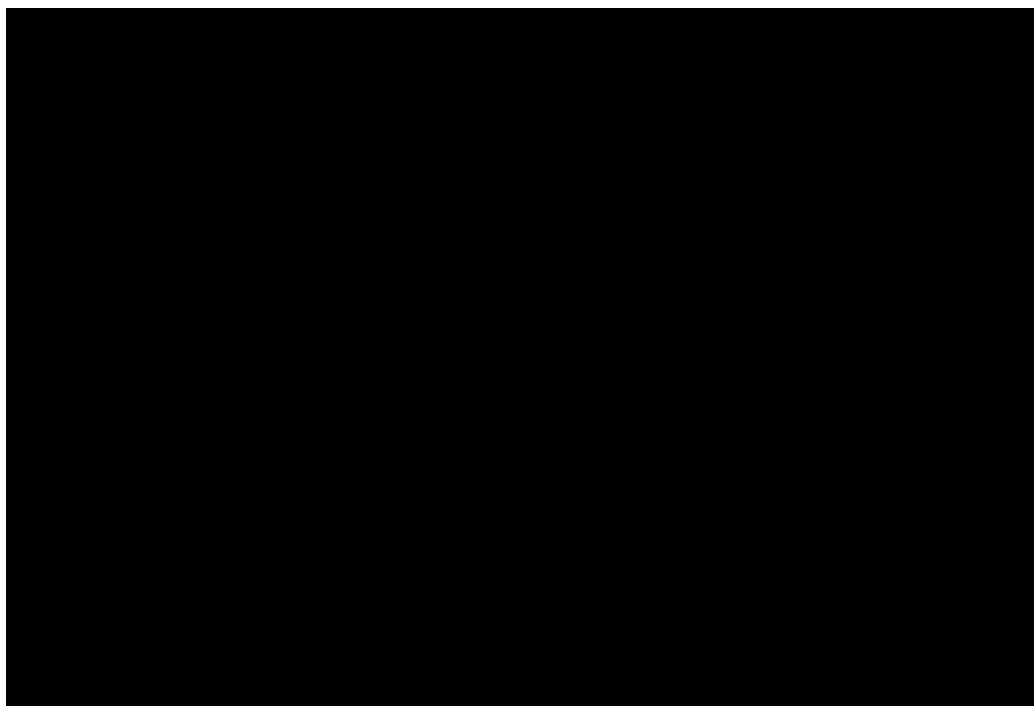
スタック編成設備グローブボックス等周辺のSG設備
(査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B))

スタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の周辺に査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) を設置する設計としている。

査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) とスタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の設置場所を第1図に示す。査察現場キャビネットの外形図を第2図に示す。

スタック編成設備グローブボックスと査察現場キャビネット (LC-15A) は、スタック編成設備グローブボックスのメンテナンスに必要なスペース及びキャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保した場所に設置していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

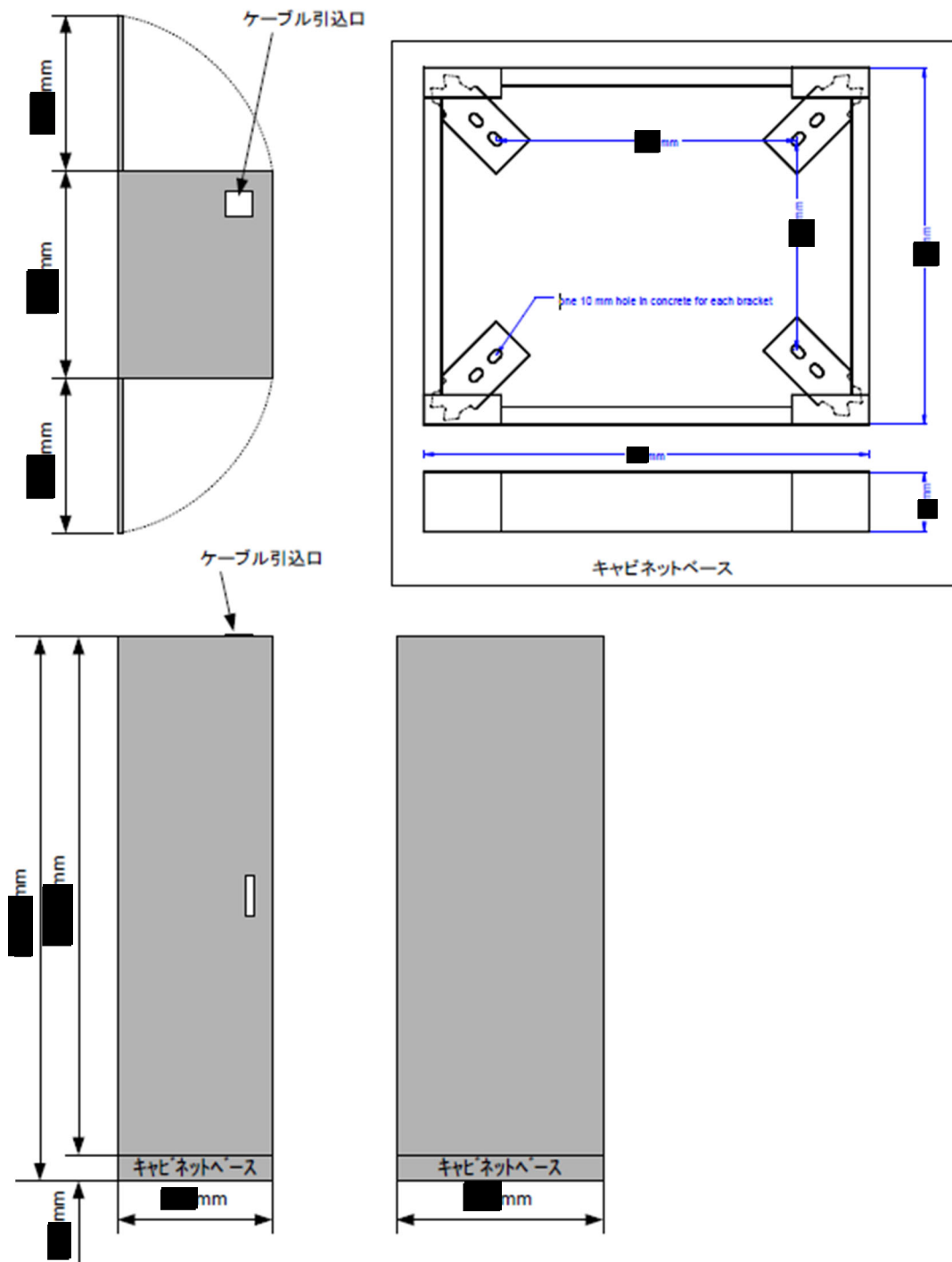
査察現場キャビネット (LC-15B) とペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8も同様の設計となっている。



ペレット保管容器搬送装置
グローブボックス-8

スタック編成設備グローブボックス

第1図 LC-15A及びLC-15B 設置場所



第2図 査察監視キャビネット外形図

ロッドスキャンニング装置等周辺のSG設備

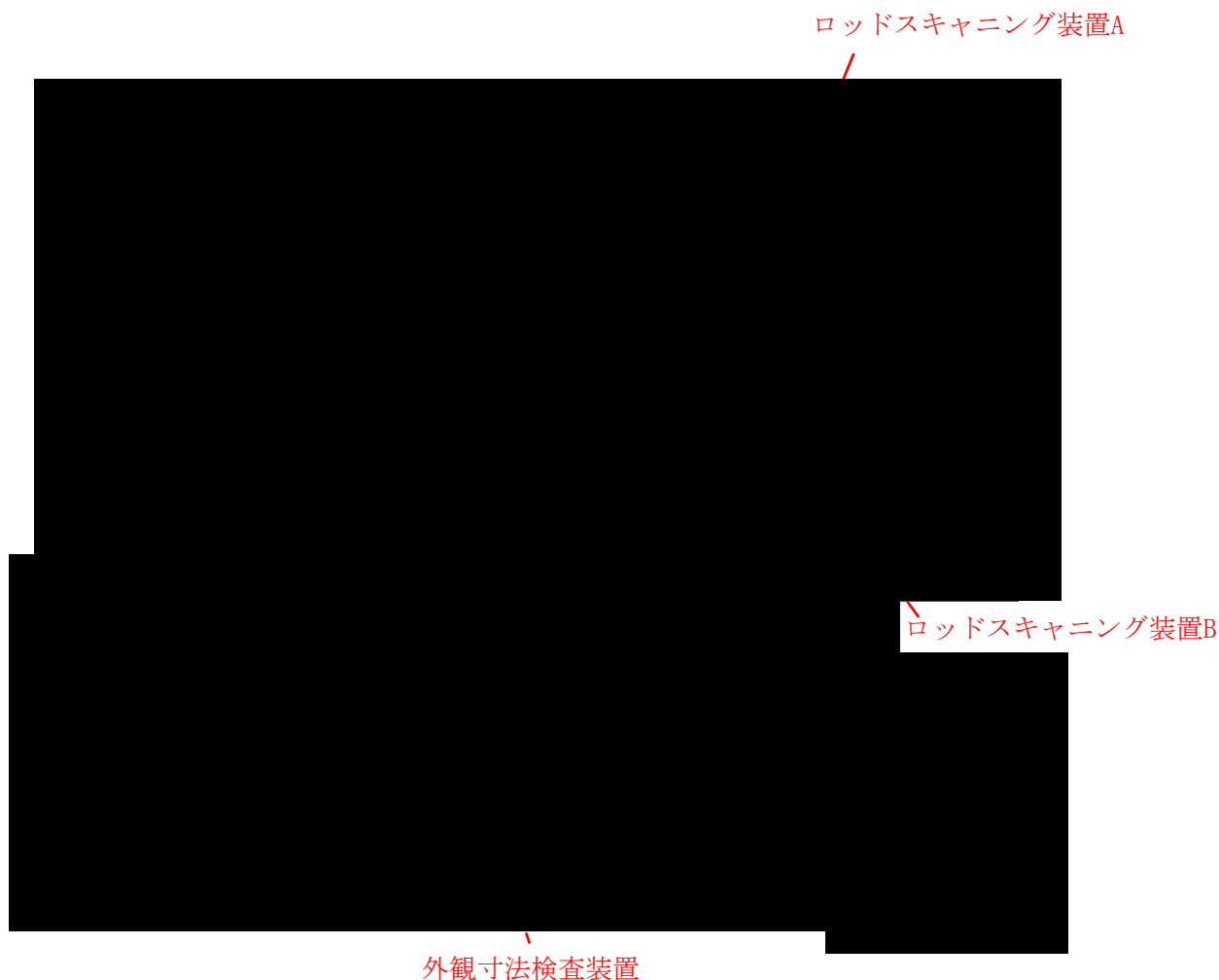
(██████, ██████)

ロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の周辺に██████, ██████を設置する設計としている。

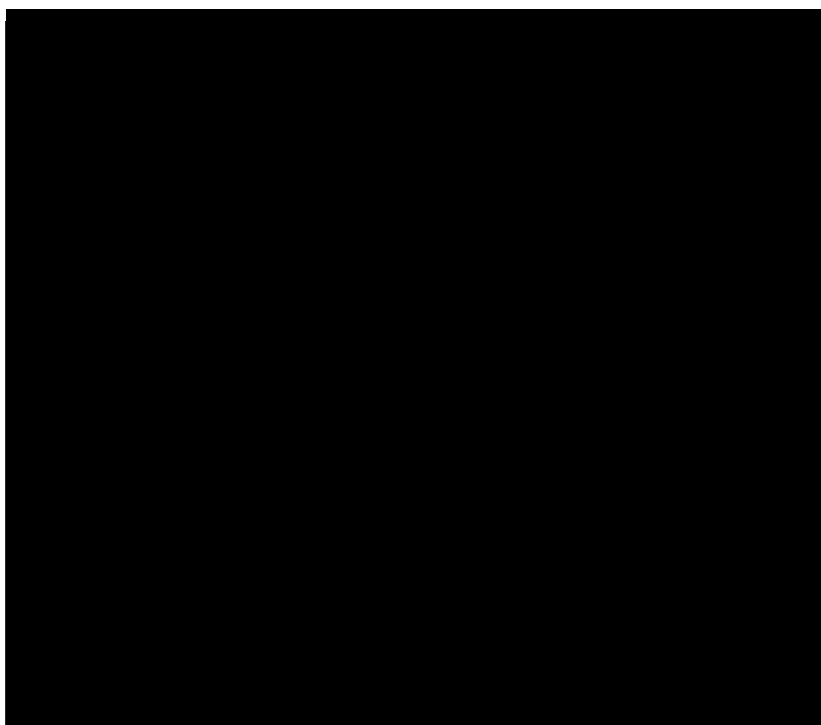
██████, ██████とロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の設置場所を第1図に示す。██████の概略図及び設置スペースを第2図, 第3図に示す。

██████, ██████の至近にはロッドスキャンニング装置のローラコンベアがあるが、ローラコンベアは上側からアクセスすることでメンテナンスに影響はない場所を設置スペースとして確保していることから相互影響を考慮した設置場所となっている。

また, ██████の設置場所から外観寸法検査装置は十分に距離が離れており, 相互影響を考慮した設置となっている。



第1図 ██████及び██████の設置場所



第2図 ■ 概略図



【設置スペースについて】
図で示した設置スペースの範囲内に架台を含めて [redacted] が設置されるものとする。



[pink box] 設置スペース

[blue box] [redacted]

[yellow box] 架台

[purple box] バーコードリーダー、
照明本体

第3図 [redacted] 設置スペース

燃料棒収容装置等周辺のSG設備

(████, █████)

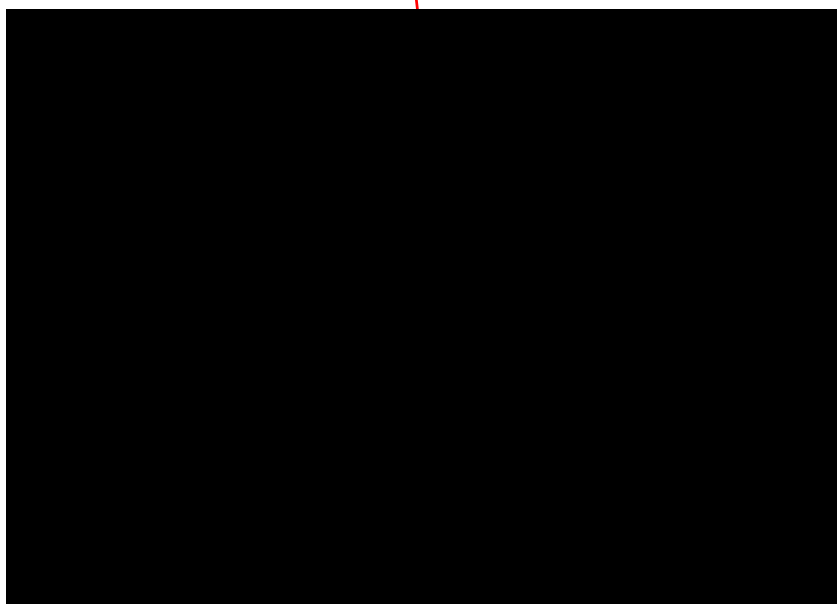
燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の燃料棒の搬送を監視するため、燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の周辺に████, █████を設置する設計としている。

████, █████と燃料棒収納装置及び燃料棒供給装置の設置場所を第1図に示す。████の概略図及び設置スペースを第2図, 第3図に示す。████の概略図及び設置スペースを第4図, 第5図に示す。

████は、燃料棒収容装置のメンテナンスが必要ないスペースに設置するスペースを確保することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

████も同様に、燃料棒供給装置のメンテナンスが必要ないスペースに設置するスペースを確保することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

燃料棒収容装置



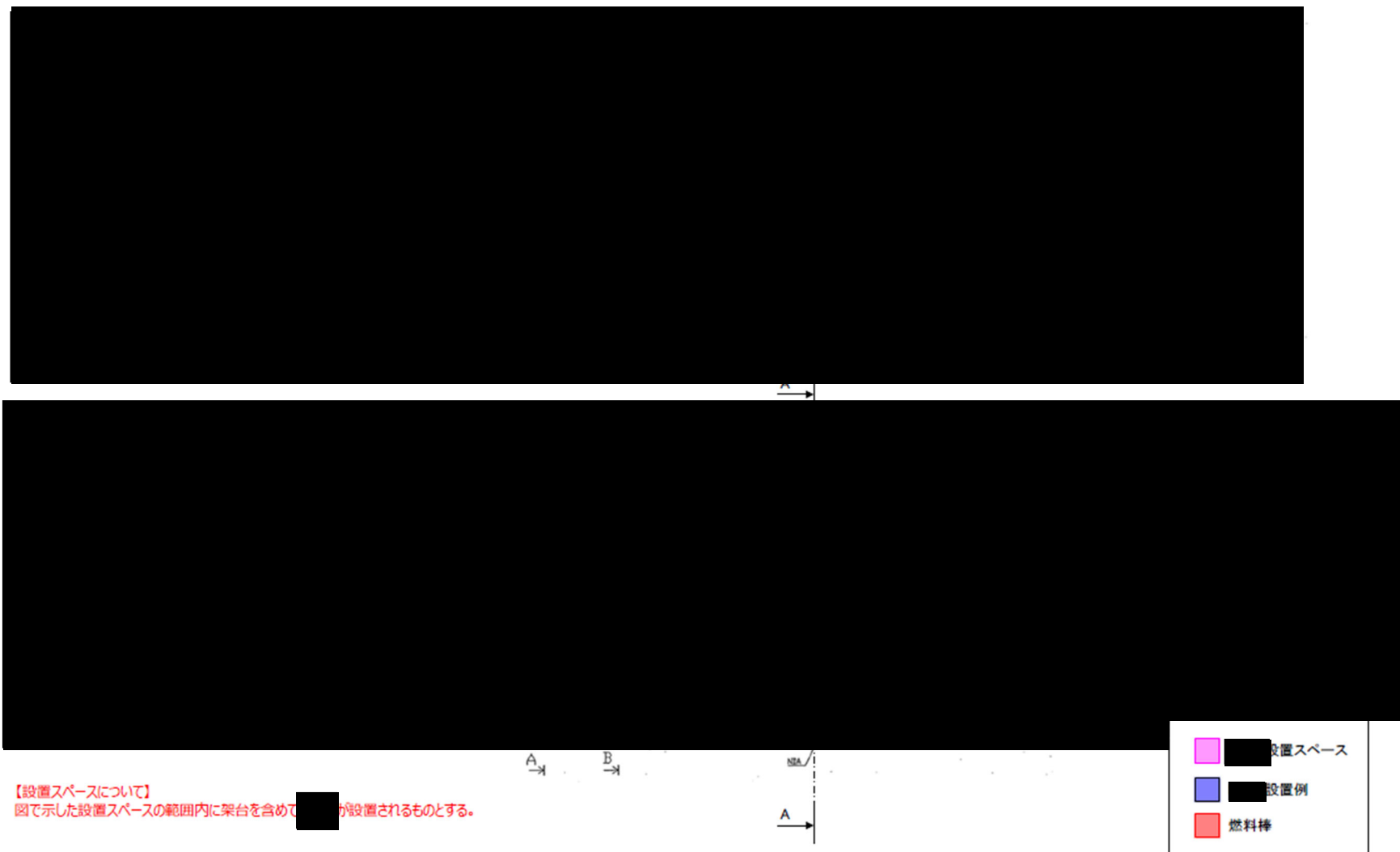
燃料棒供給装置

第1図 █████及び████の設置場所

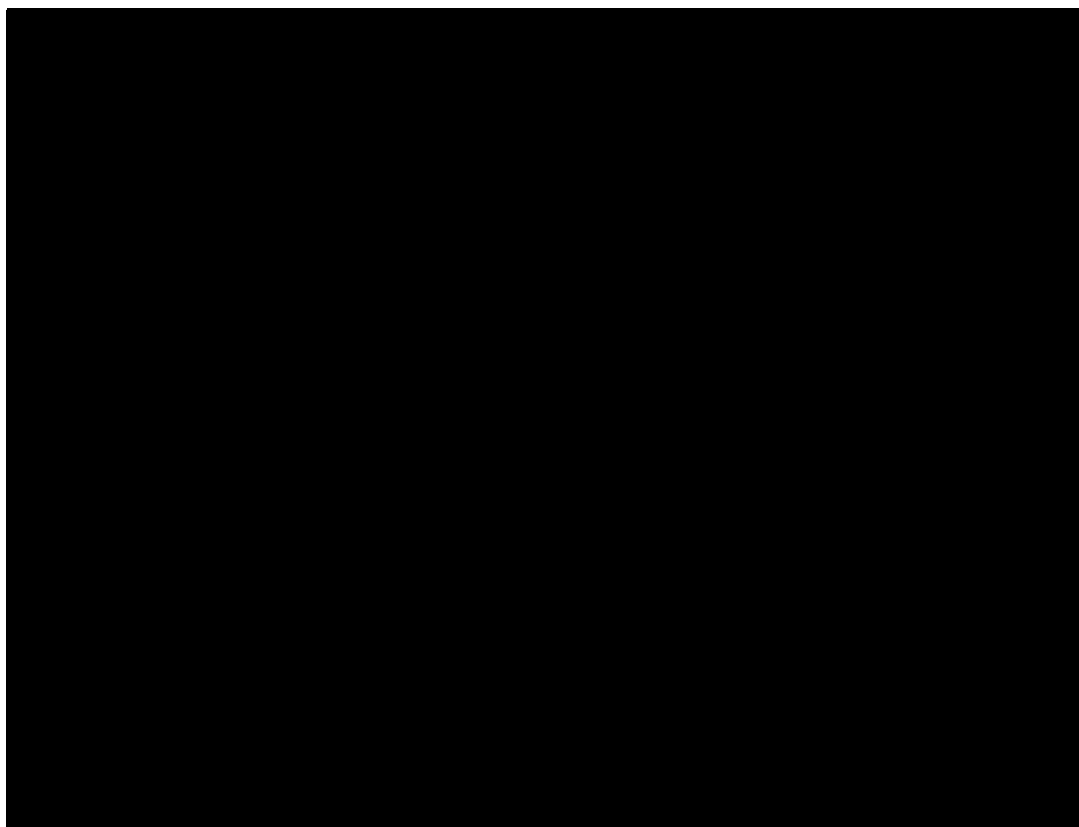


単位：mm

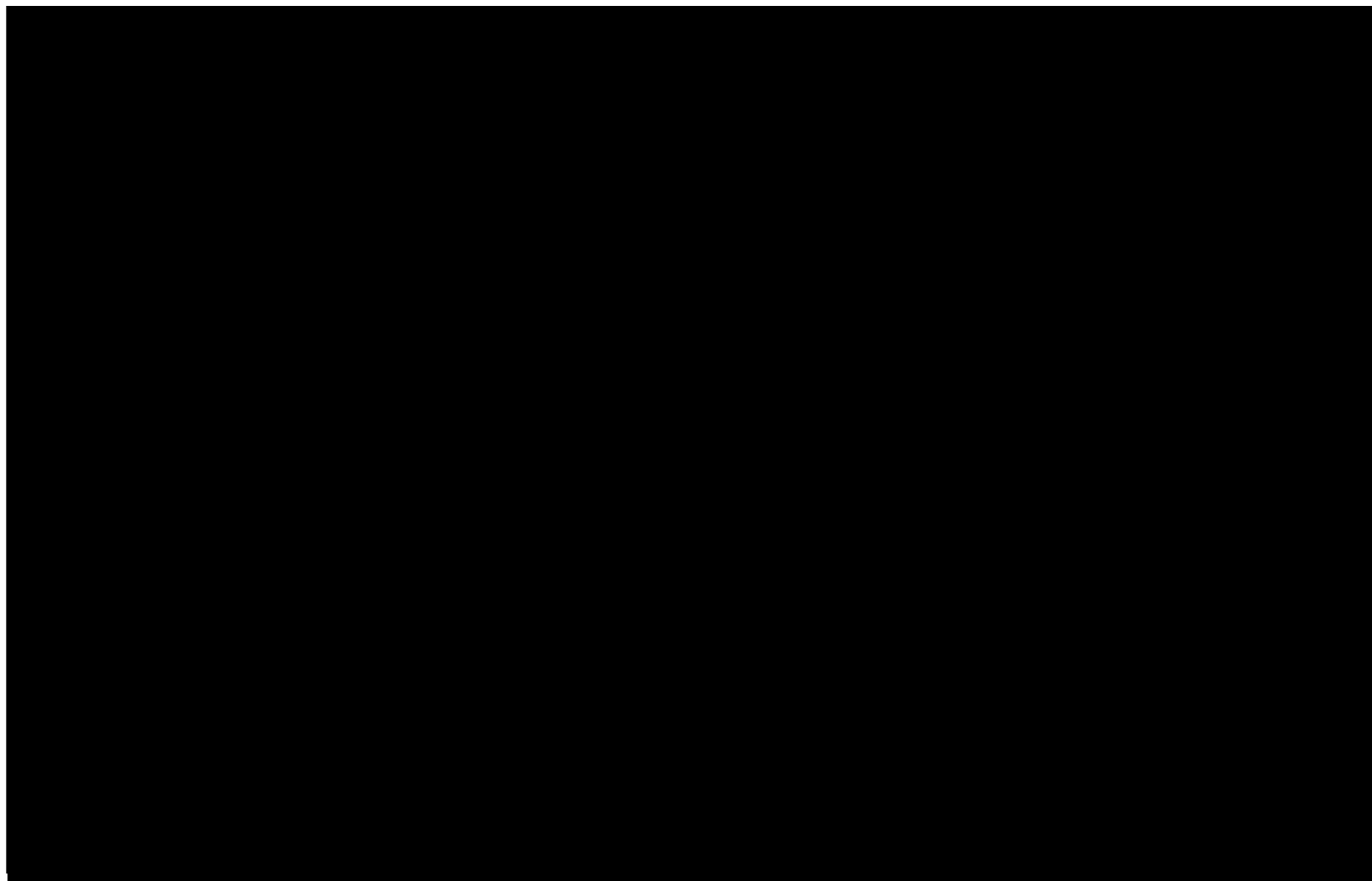
第2図  概略図



第3図 [] 設置スペース



第4図 ■ 概略図



第5図 ■ 設置スペース

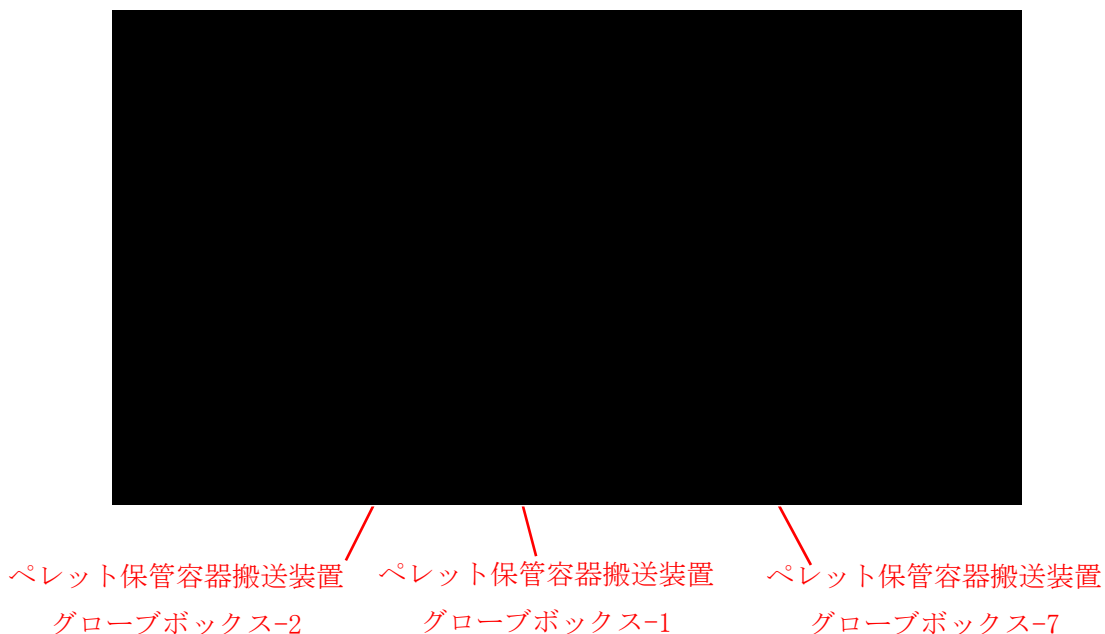
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1等周辺のSG設備
 ()

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の周辺にペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (第3回申請) の搬送を監視するための を設置する設計としている。

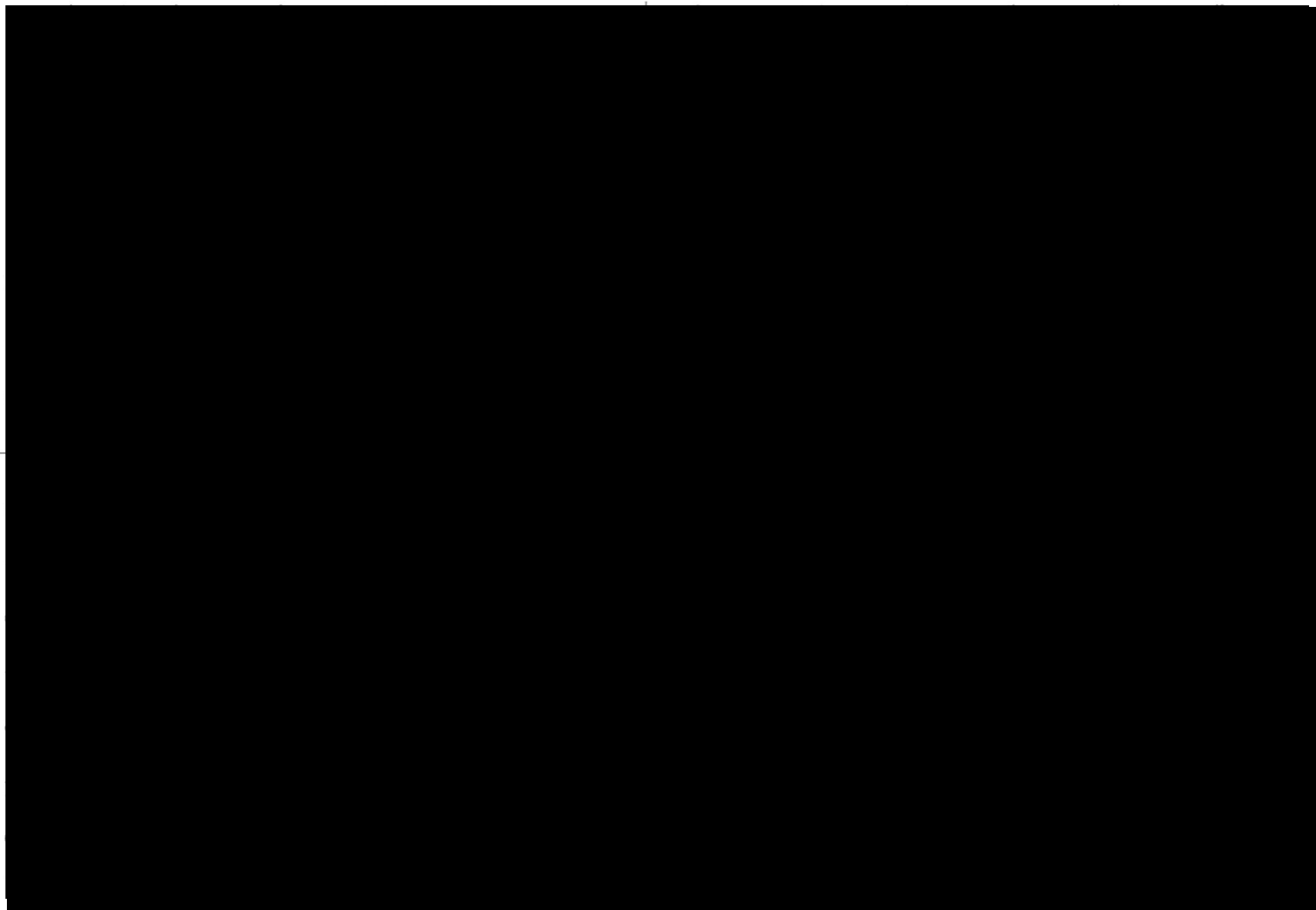
とペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の設置場所を第1図に示す。 の設置スペースを第2図に示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の構造を第3図に示す。

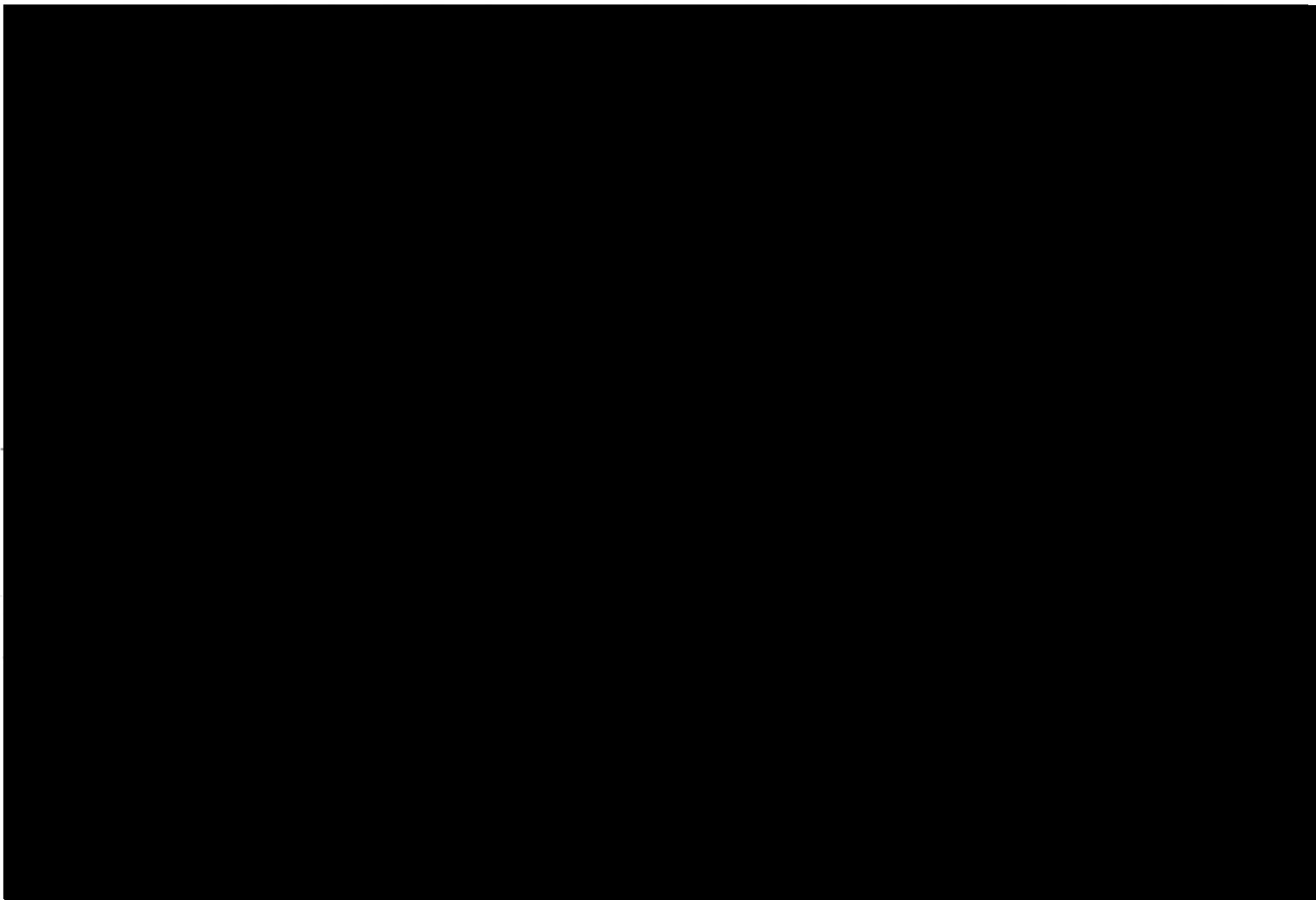
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7は, 付近のポートにアクセス可能であるため, 相互影響を考慮した設置場所となっている。



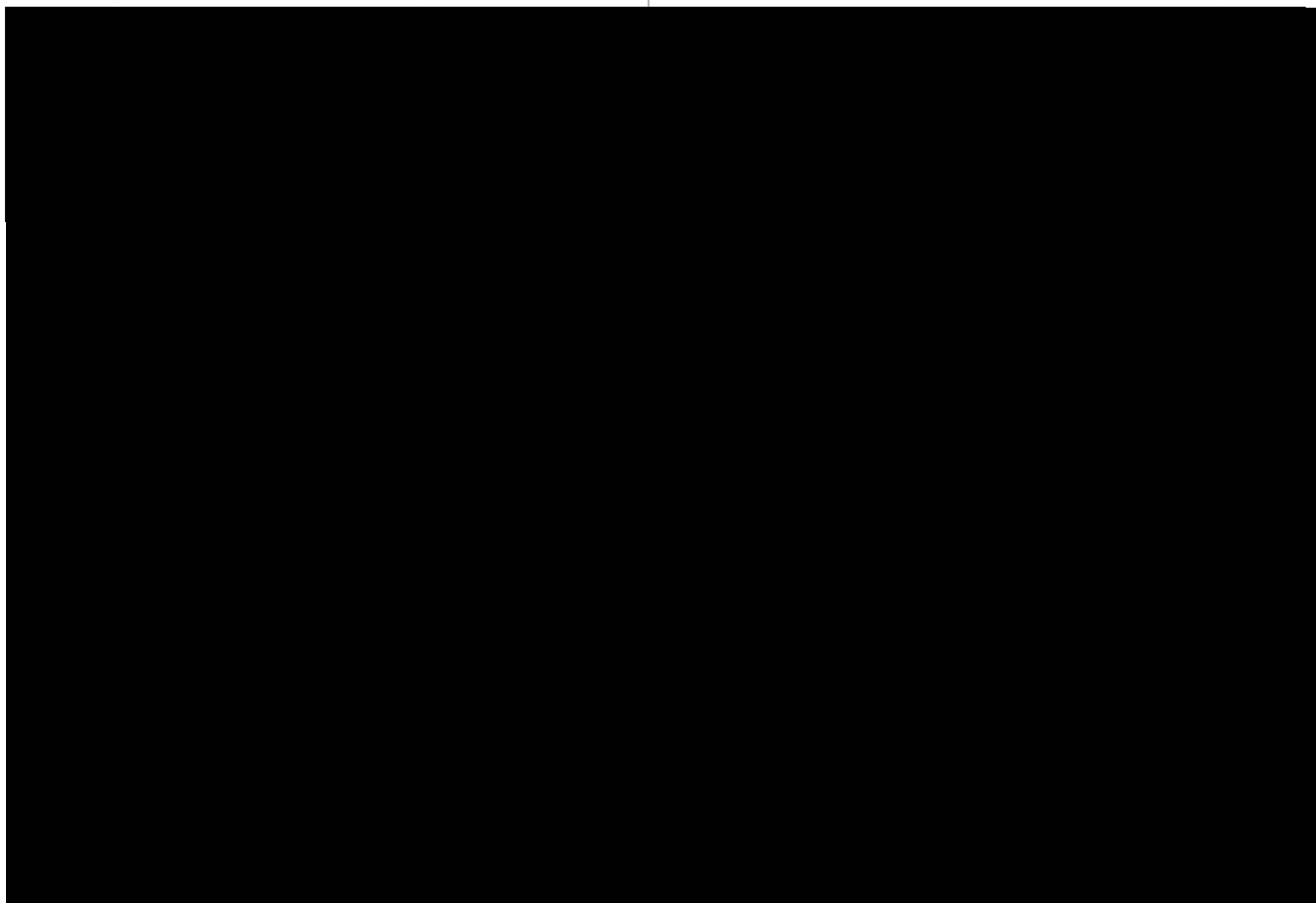
第1図 (), ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, -7の設置場所



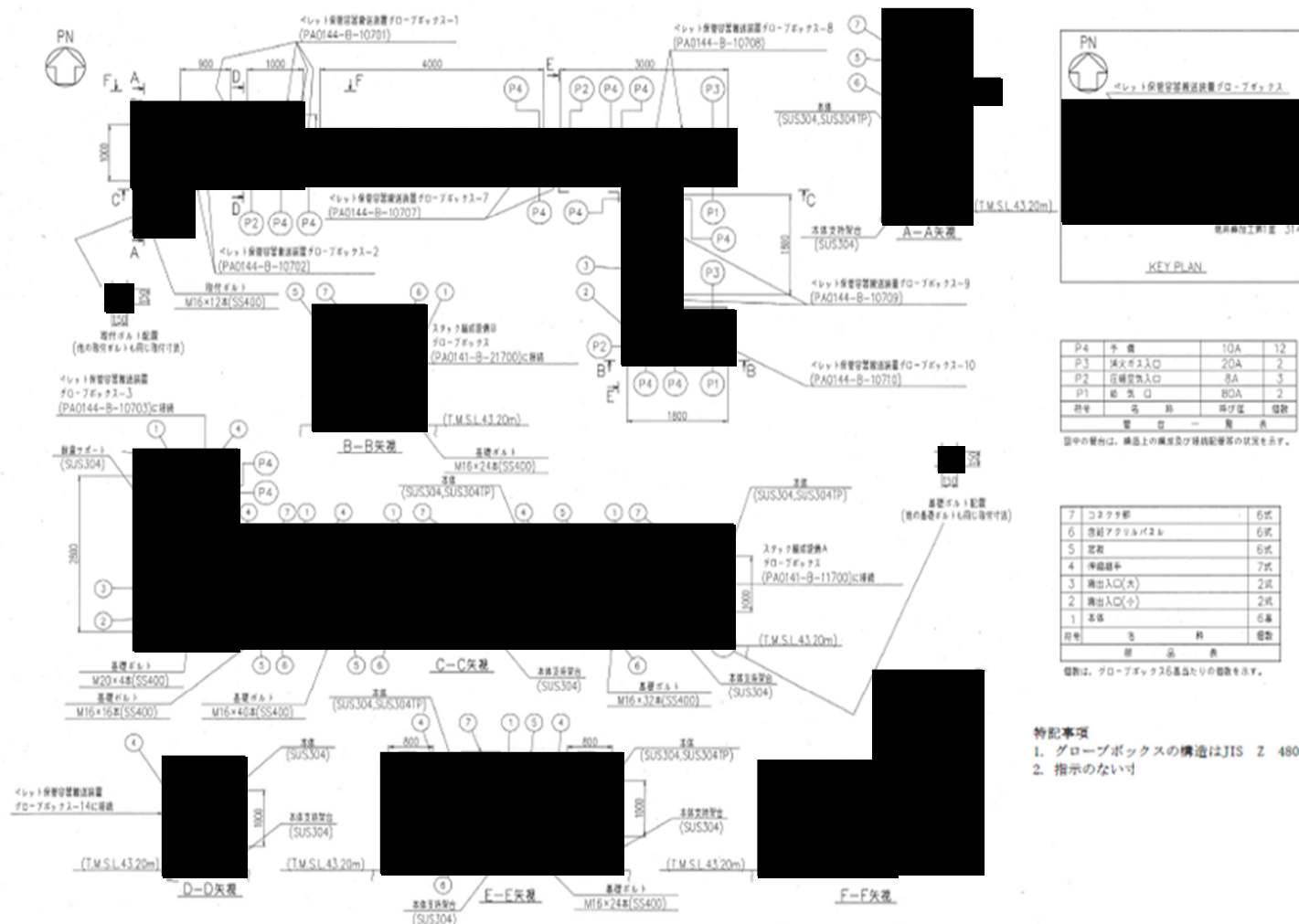
第2図(1) ■ 設置スペース



第2図(2) ■ 設置スペース



第2図(3) ■ 設置スペース



第3図 ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, 7の構造図

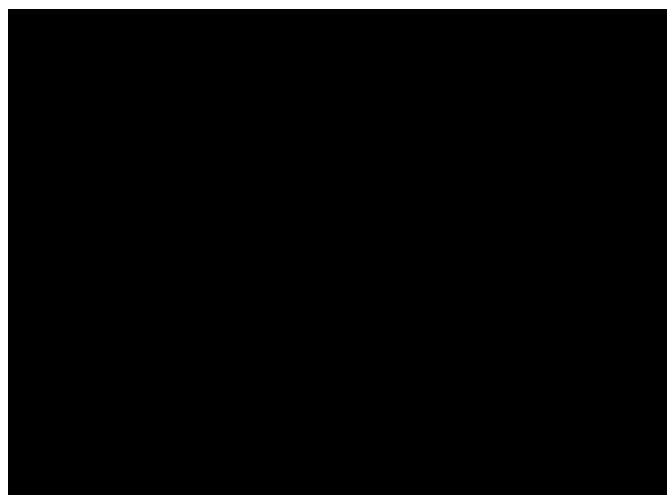
乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺のSG設備

()

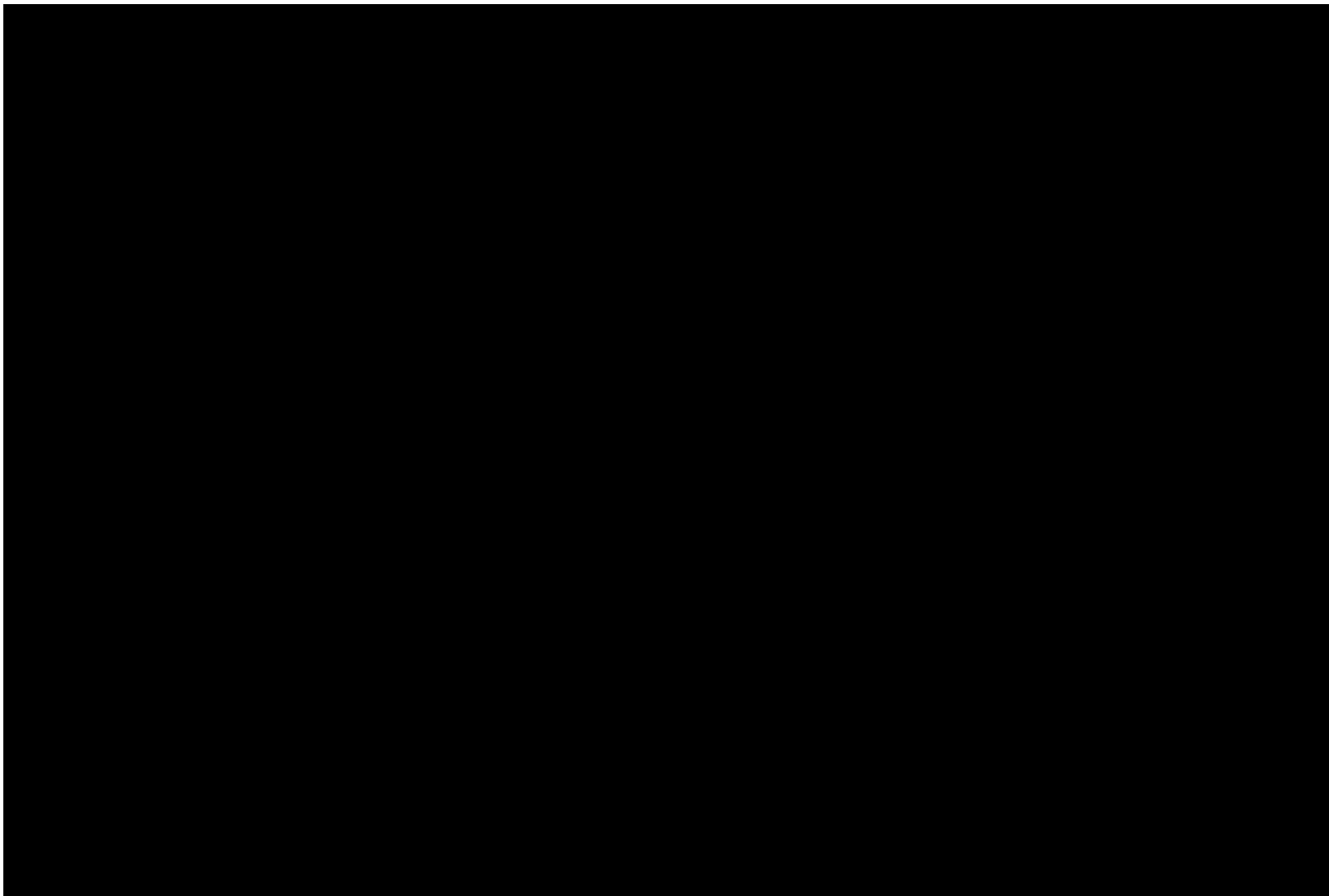
乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6での核燃料物質の搬送を監視するため、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺に を設置する設計としている。

と乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所を第1図に示す。 の設置スペースを第2図に示す。

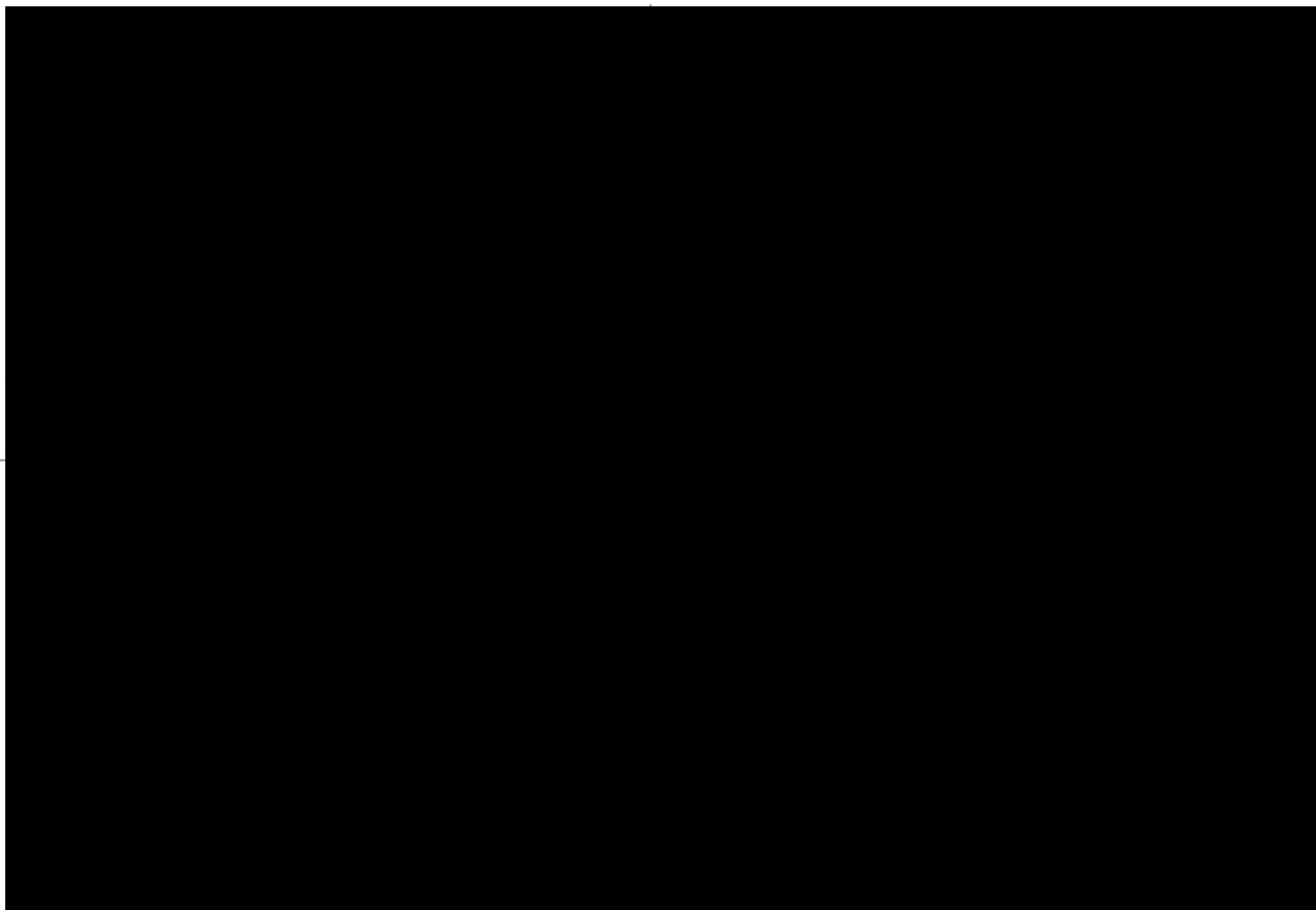
は、通常時及びメンテナンス時に乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6と干渉しない場所に設置する。 こと
で、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6のメンテナンスができる設計としており、相互影響を考慮した設置となっている。

乾燥ボート搬送装置
グローブボックス-6

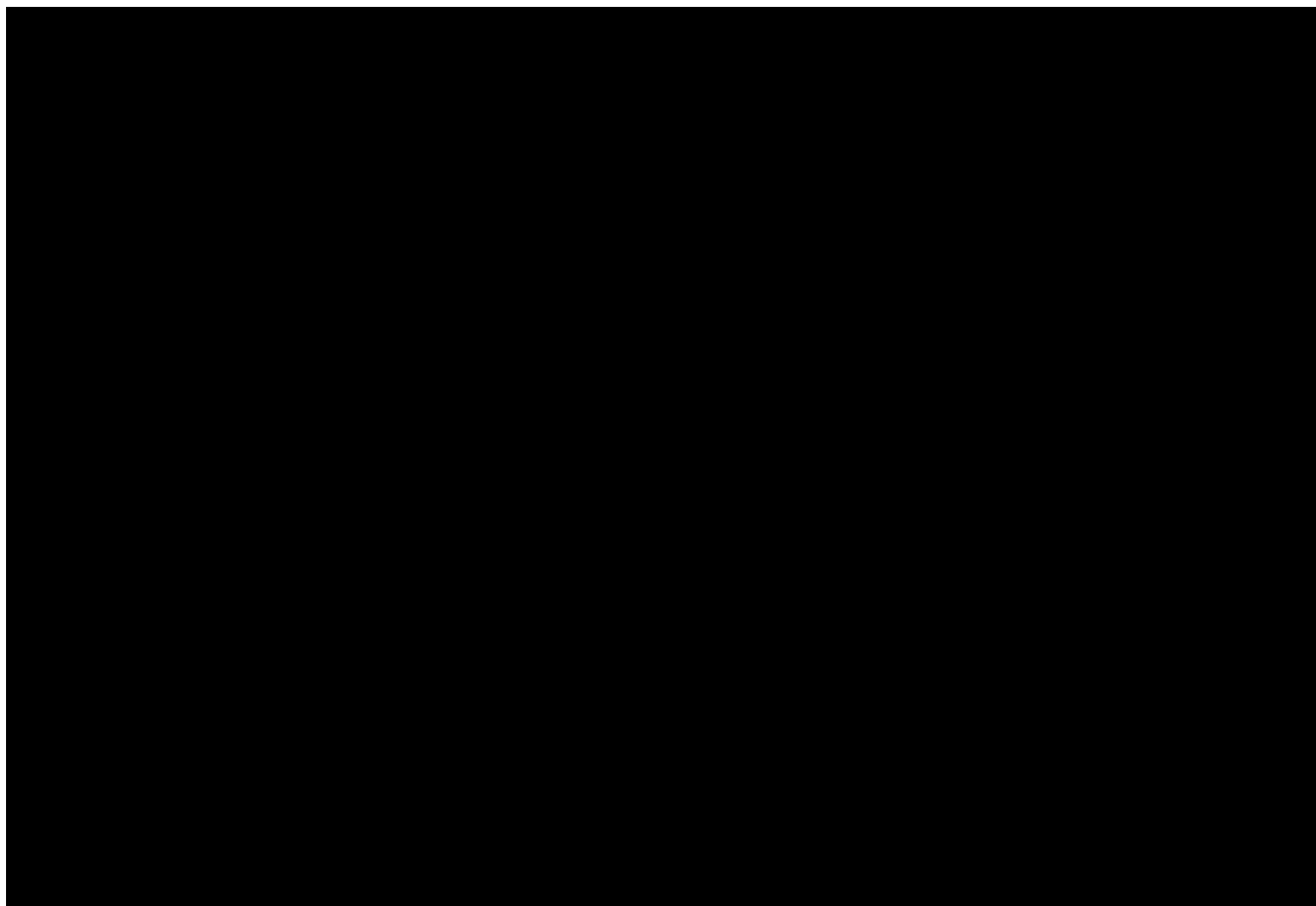
第1図 及び乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所



第2図(1) 設置スペース



第2図(2) ■■■■ 設置スペース



第2図(3) ■ 設置スペース

マガジン編成装置と一体となって設置するSG設備

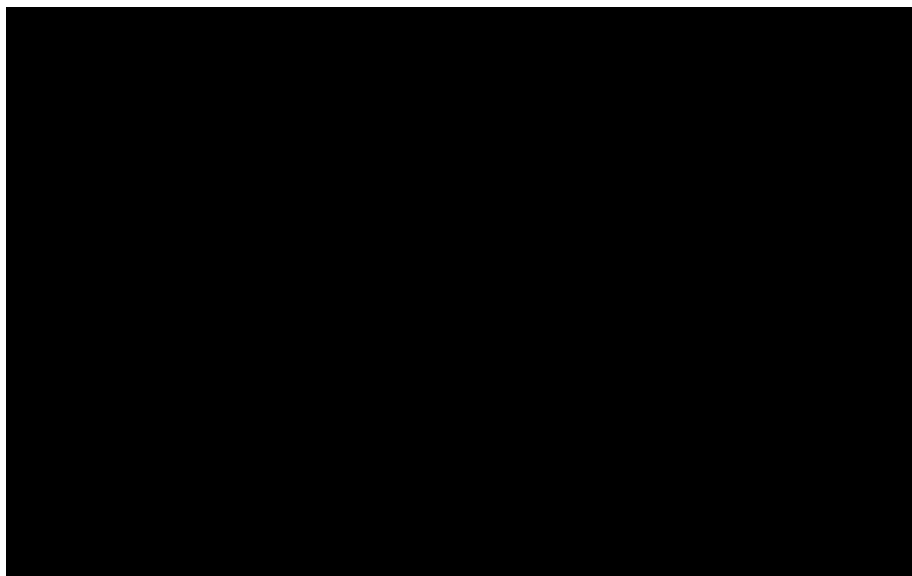
()

マガジン編成装置に燃料棒の搬送を監視するため()を設置する設計としている。

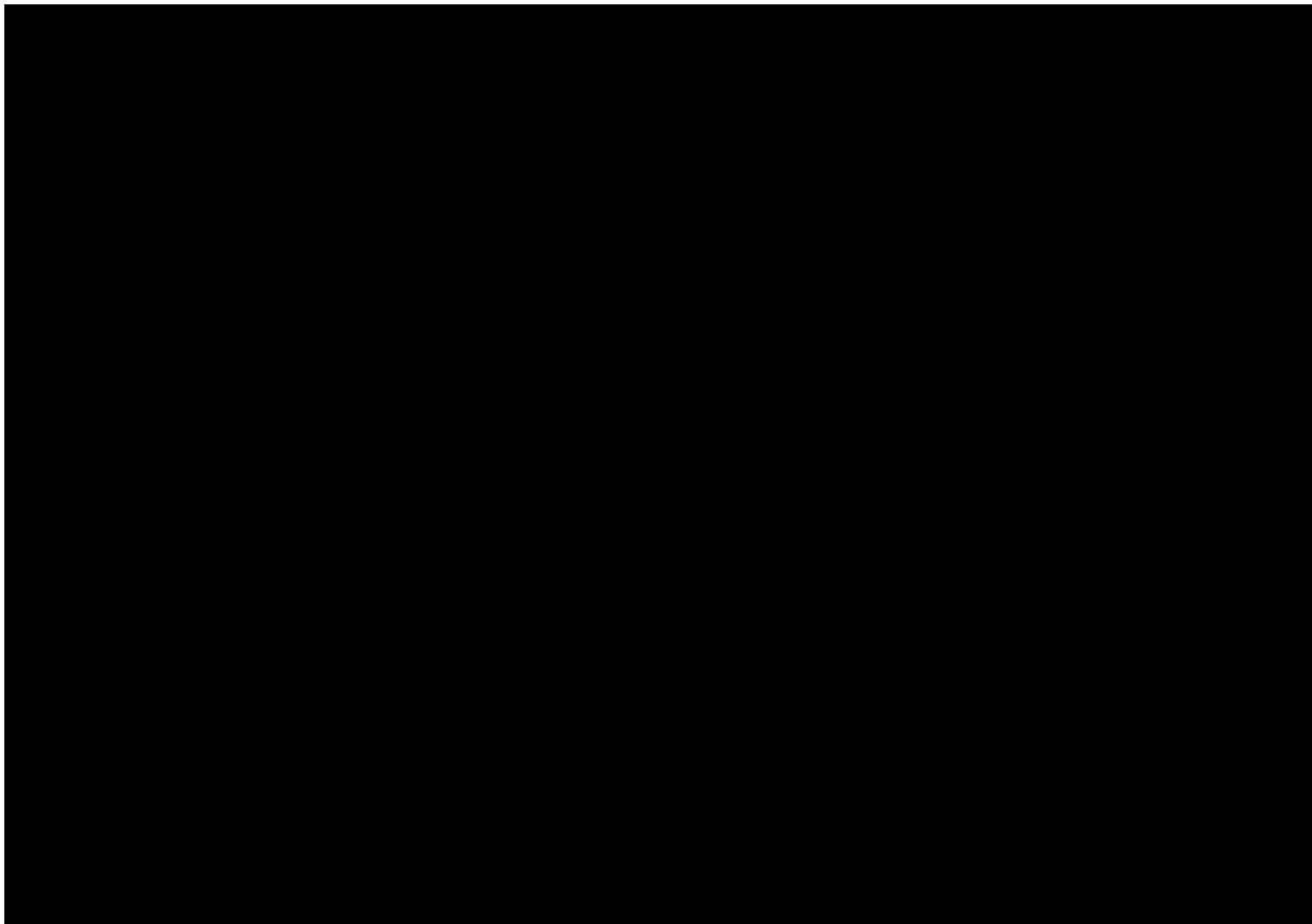
()とマガジン編成装置の設置場所を第1図に示す。()の構造を第2図に設置スペースを第3図に、()を設置するマガジン編成装置の構造を第4図に示す。

()は、マガジン編成装置の洗浄機に設置する設計とし、ボルト固定によりメンテナンス時に取り外し可能な構造とすることで、メンテナンススペースを確保する設計とし、相互影響を考慮した設計とする。

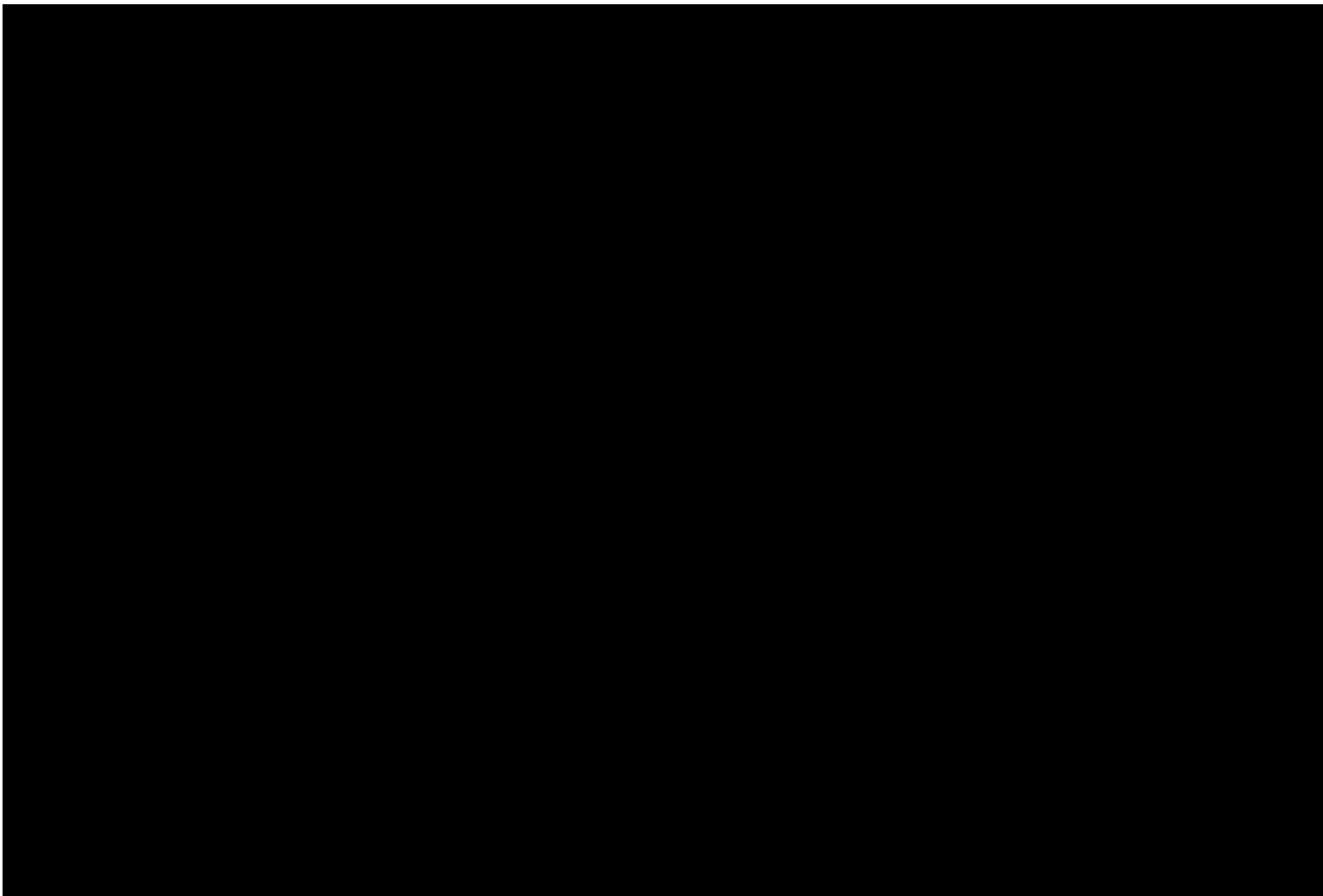
また、()は、マガジン編成装置に設置することから、マガジン編成装置の耐震設計上の評価条件として()の負荷を考慮した設計とする。また()は、マガジン編成装置の耐震設計上で考慮する負荷条件を逸脱しない設計とすることで、相互影響を考慮した設計とする。



第1図 ()及びマガジン編成装置の設置場所



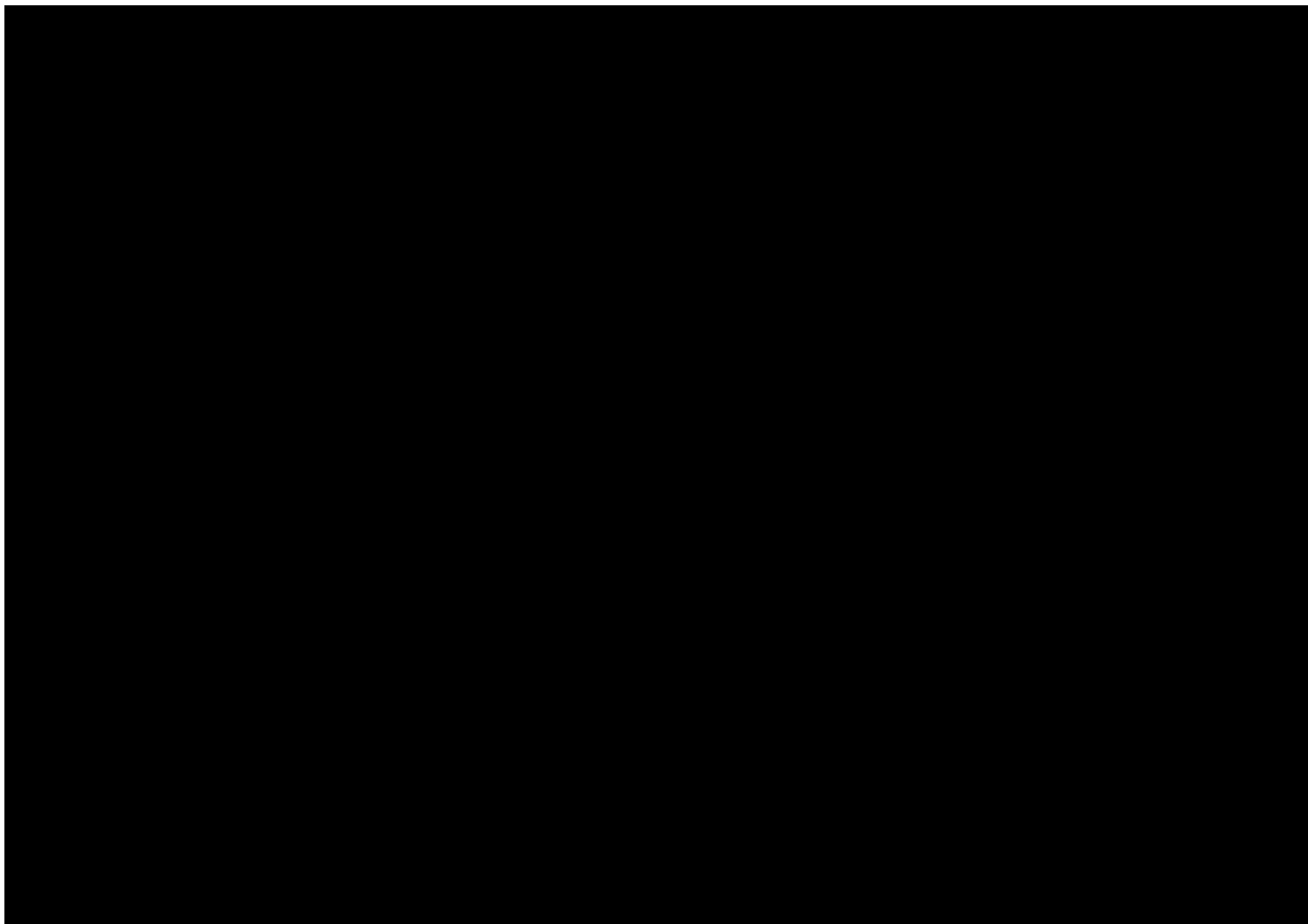
第2図 ■ 概略図



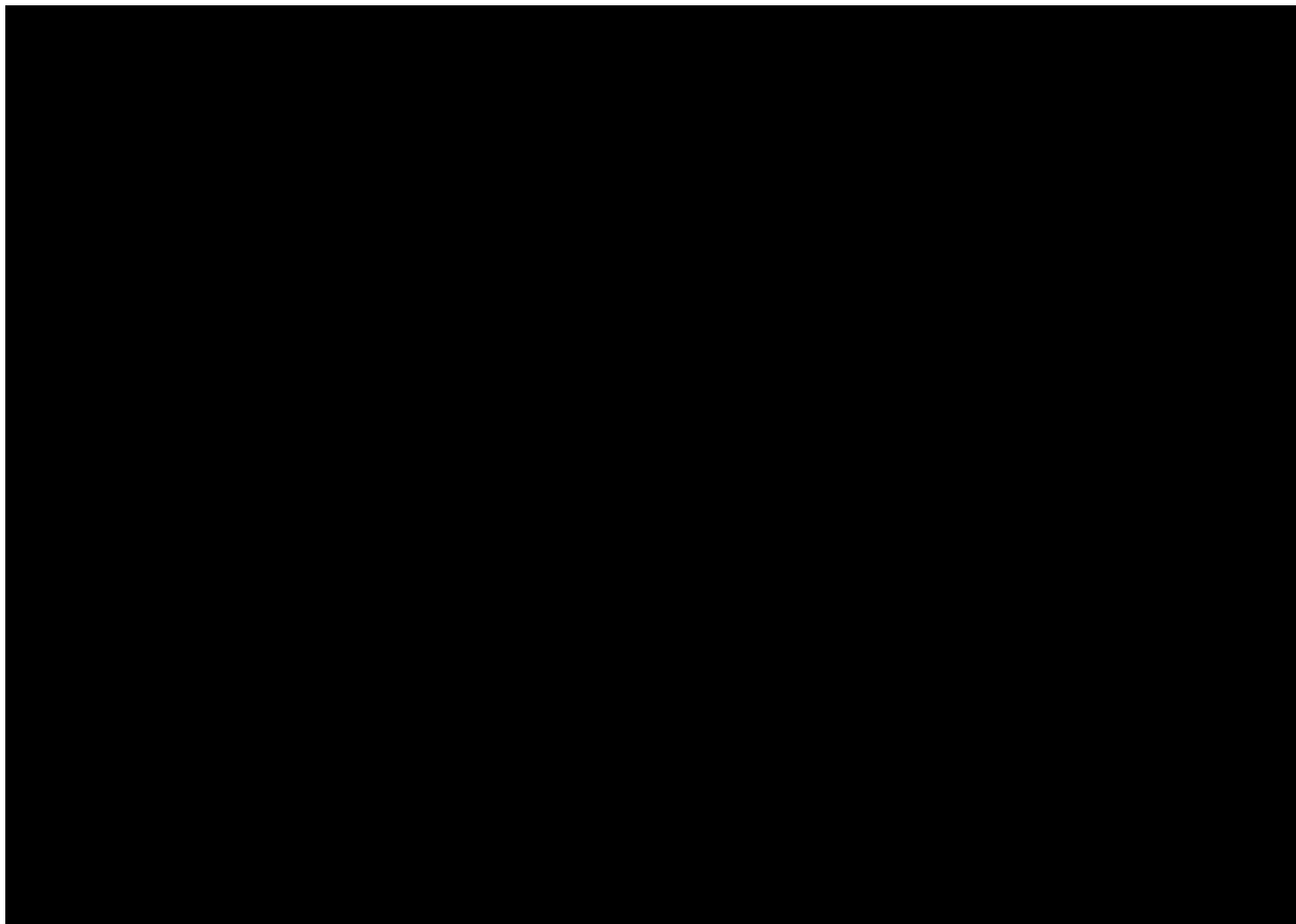
第2図 ■ 設置スペース



第4図 (1) マガジン編成装置 構造図



第4図 (2) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)



第4図 (3) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)

リフト周辺のSG設備

(■■■■■, ■■■■■, 査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B))

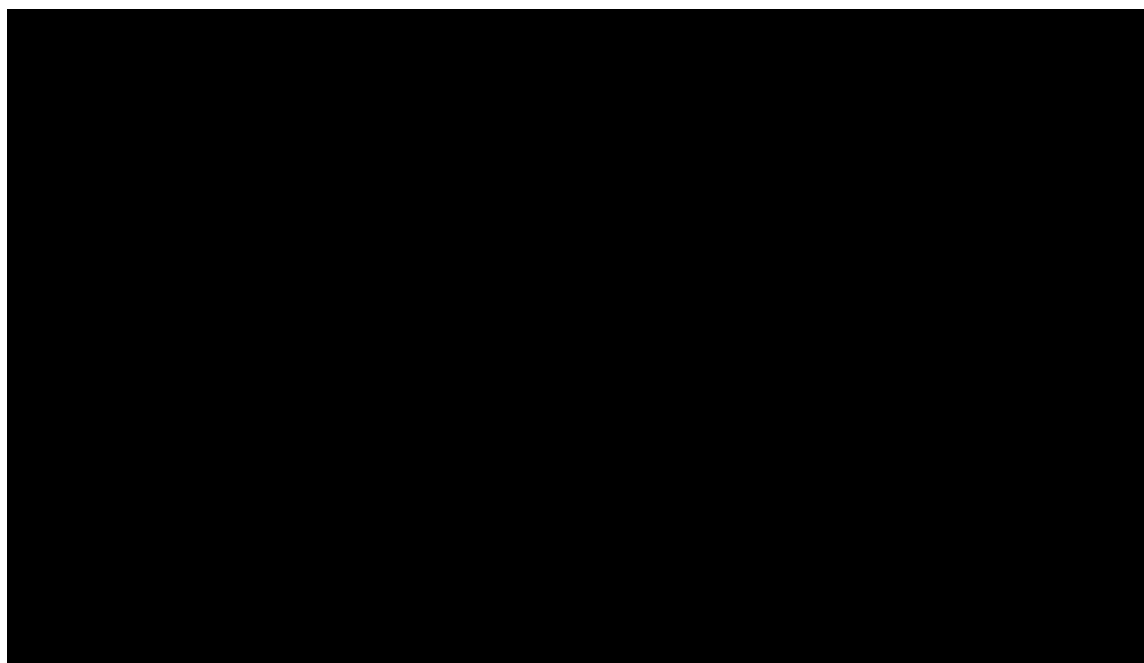
リフトでのPWR燃料集合体及びBWR燃料集合体の搬送を監視するため、リフト周辺に■■■■■、■■■■■を設置する設計としている。

また、リフト近傍に、査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) を設置する設計としている。

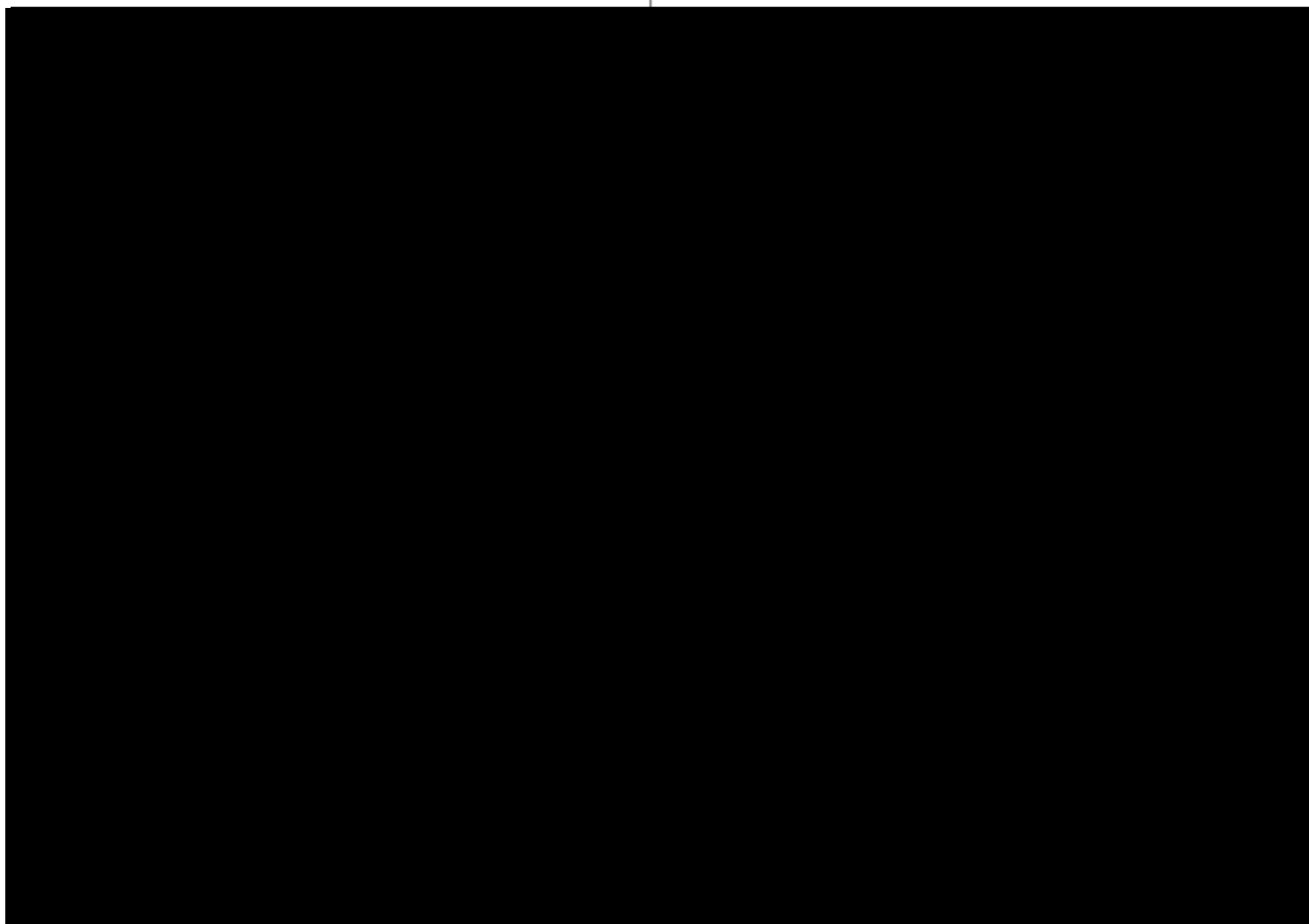
■■■■■, ■■■■■, LC-21A, LC-21B及びリフトの設置場所を第1図に示す。■■■■■及び■■■■■の設置スペースを第2図に示す。

■■■■■, ■■■■■は、メンテナンスの際に本体を取り外し可能な設計とすることで、相互影響を考慮した設計としている。

また、リフトと査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 ■■■■■, ■■■■■, LC-21A, LC-21B及びリフトの設置場所



第2図 ■ 設置スペース

貯蔵梱包クレーン等周辺のSG設備

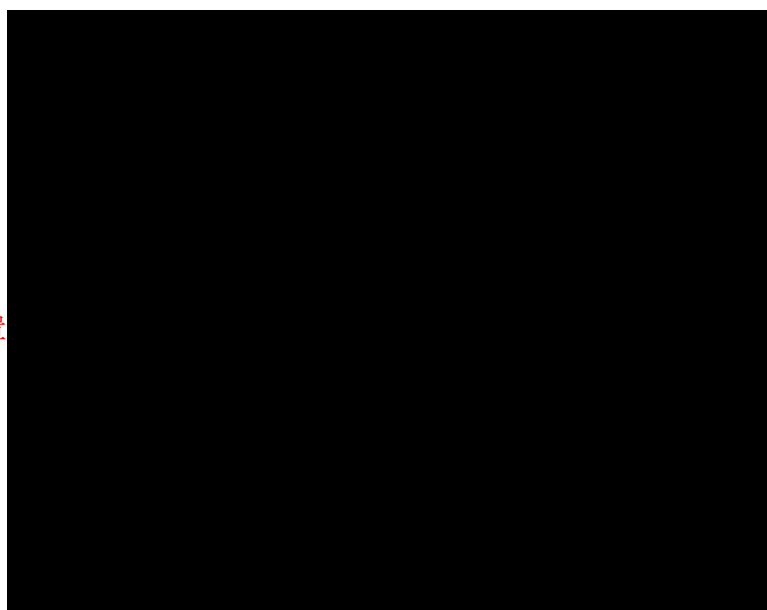
()

貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の周辺に を設置する設計としている。

，貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所を第1図に示す。 の設置スペースを第2図に示す。

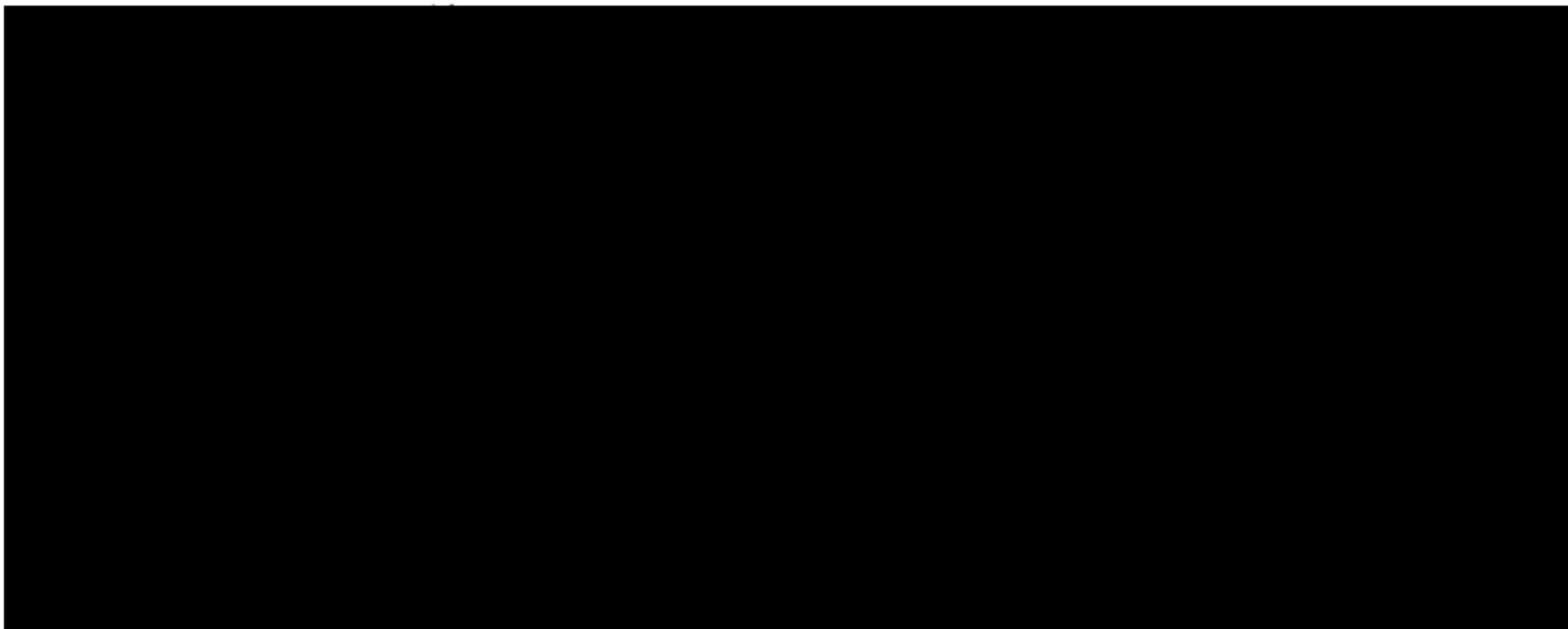
は，通常時及びメンテナンス時に容器蓋取付装置及び貯蔵梱包クレーンに干渉しないスペースを確保できる設計とすることで，相互影響を考慮した設置場所となっている。

容器蓋取付装置



貯蔵梱包クレーン

第1図 ，貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所



第2図 ■ 設置スペース

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4周辺のSG設備

(■■■■-8)

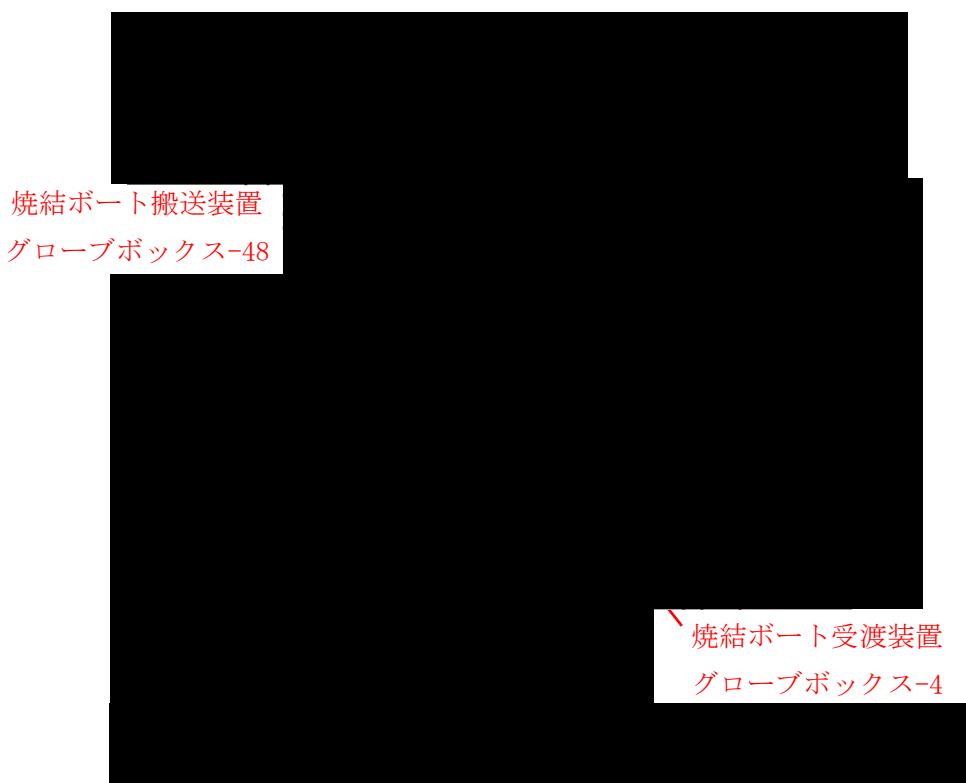
焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の周辺に焼結ボート搬送装置グローブボックス-48（第3回申請）の搬送を監視するための■■■■-8を設置する設計としている。

AMGB-8と焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所を第1図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4と■■■■-8の設置場所の関係を第2図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4は、■■■■-8付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

■■■■-8は、耐震Sクラスとなる焼結ボート受渡装置グローブボックス-4に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動Ssの地震力にて転倒しない設計とする。



第1図 ■■■■-8, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4■-8の設置場所の関係

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1周辺のSG設備

(■-9)

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の周辺に回収粉末容器搬送装置グローブボックス-2（第3回申請）の搬送を監視するための■-9を設置する設計としている。

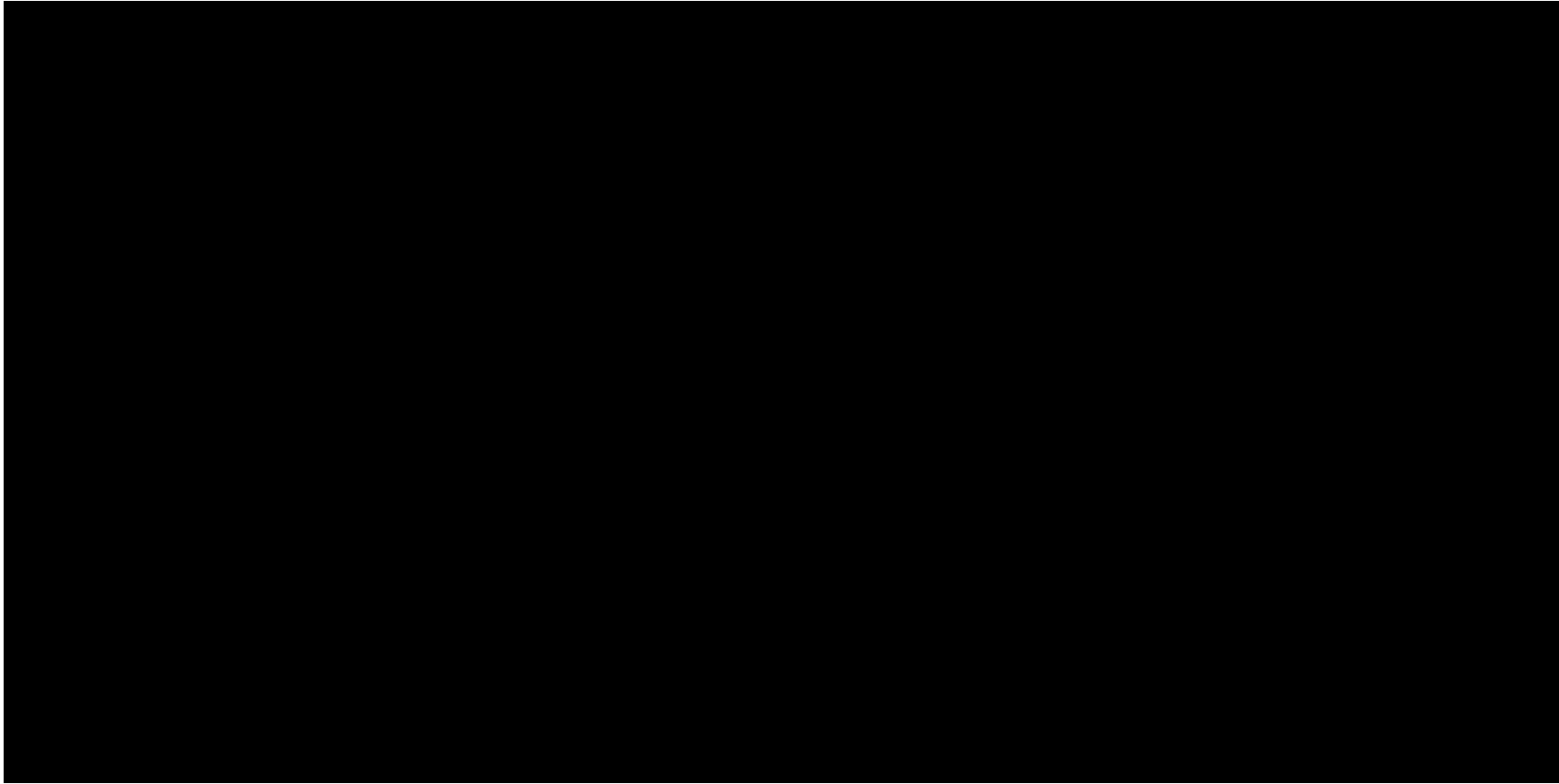
■-9とスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の設置場所を第1図に示す。スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1と■-9の設置場所の関係を第2図に示す。

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1は■-9付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

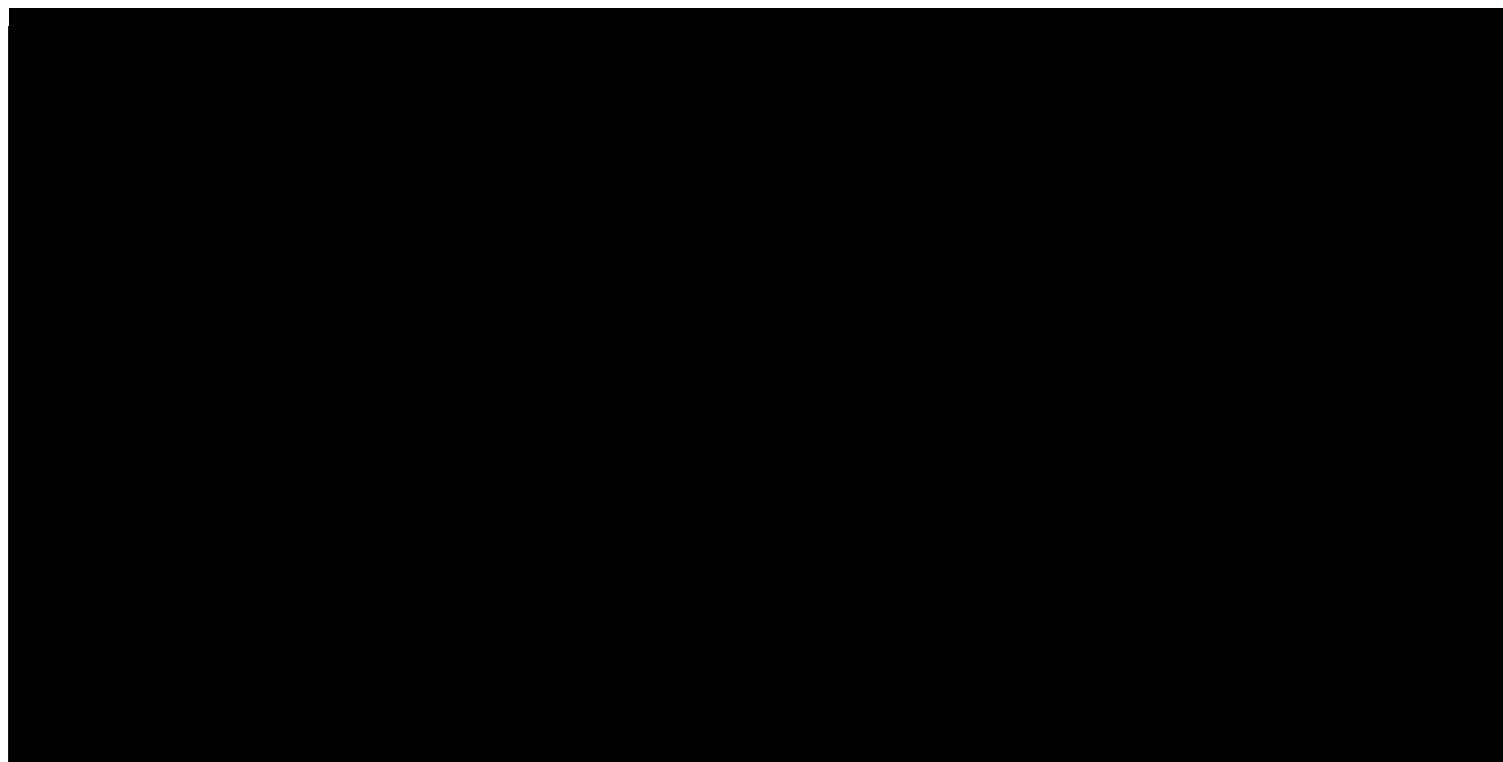
■-9は、耐震Sクラスとなるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動Ssの地震力にて転倒しない設計とする。

回収粉末容器搬送装置
グローブボックス-2

第1図 ■-9, 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 (1) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1と■-9の設置場所の関係



AMGB-9が落下した場合に耐震Sクラスであるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼすおそれがあることから、AMGB-9は、基準地震動Ssによる地震力にて転倒しない設計とする。

A-A

B-B

第2回申請対象GB
スクラップ保管容器受渡装置GB-1

第2図 (2) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1とAMGB-9の設置場所の関係

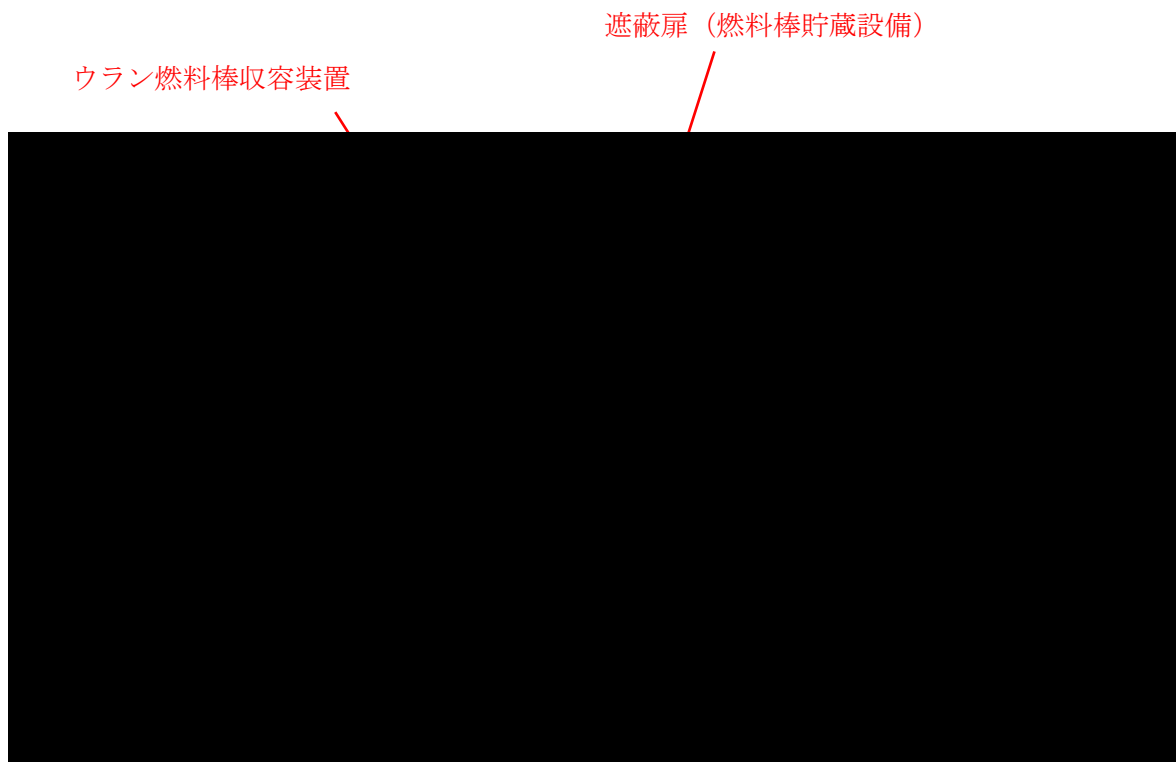
ウラン燃料棒収容装置等周辺のSG設備

(■-2)

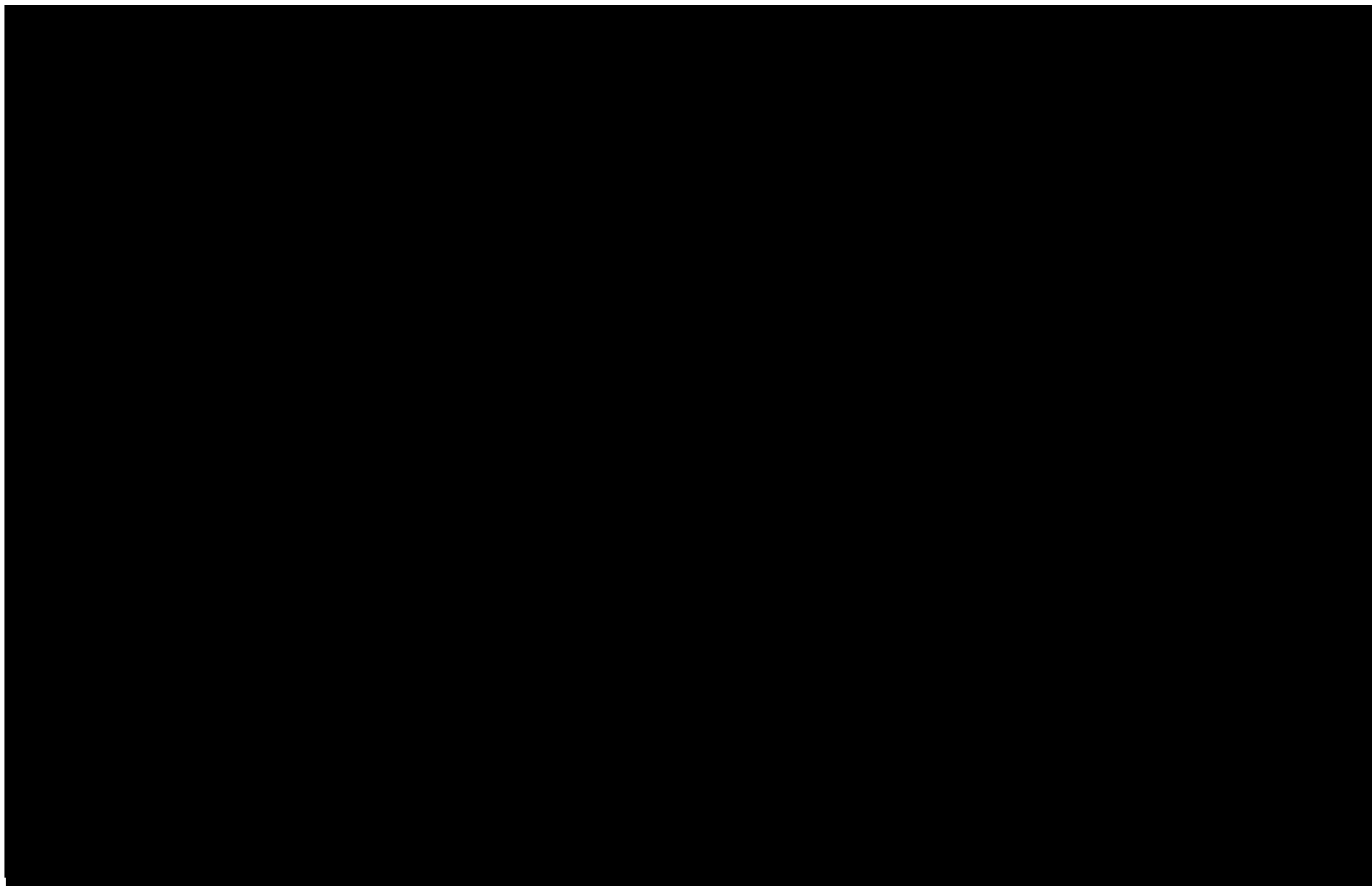
ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の周辺■-2を設置する設計としている。

■-2とウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所を第1図に示す。■-2の設置スペースを第2図に示す。

■-2は、遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の上下左右に■-2の設置スペースを確保し、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 ■-2，ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所



第2図 ■-2 設置スペース

収去試料受払装置グローブボックス周辺のSG設備

(■■■■, 査察現場キャビネット (LC-20A))

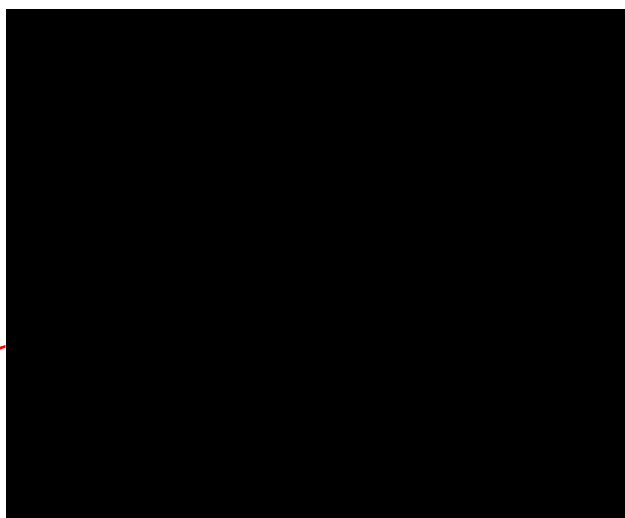
収去試料受払装置グローブボックスの底部の試料測定部から査察試料を計測するために■■■■を設置する設計としている。また、グローブボックス近傍に査察現場キャビネット (LC-20A) を設置する設計としている。

■■■■及び査察現場キャビネット (LC-20A) と収去試料受払装置グローブボックスの設置場所を第1図に示す。■■■■の設置スペースを第2図に示す。

■■■■については、当該測定装置は当該グローブボックスの下部に設置されるが、メンテナンス時は■■■■グローブボックス下部から移動させることができるため、相互の保守性に影響は無い。また、グローブボックスと■■■■が干渉しないよう、クリアランスを確保した設置場所としている。

査察現場キャビネット (LC-20A) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

収去試料受払装置
グローブボックス

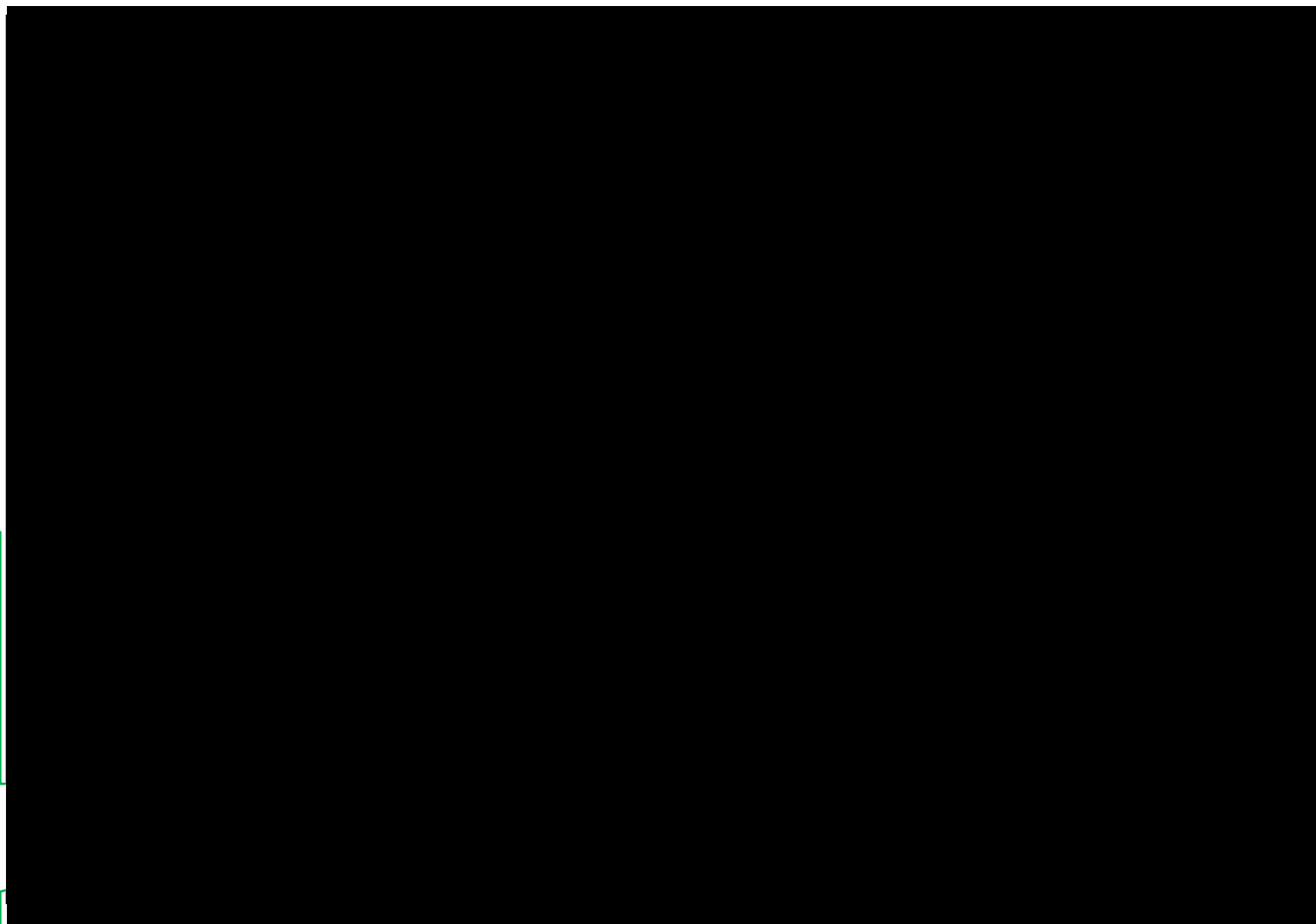


第1図 ■■■■, LC-20A及び去試料受払装置グローブボックス 設置場所

GB缶体の一部が下方へ突き出す構造であり、測定試料がGB内に設置される。
この試料固定部を囲むようにGB外に設置する。

GB缶体は安全機能である。
(GB(安全機能を有する施設)と試料のメンテナンス時相互影響がない設計)

試料とGB双方の揺れを考慮してもGBと試料は地震時も干渉しず、世知場所としている。
(GB(安全機能を有する施設)とのクリアランスの確保)



第2図 試料の設置スペース

アクセスルート周辺のPP設備，SG設備

アクセスルート周辺のPP設備及びSG設備は，アクセスルートを阻害しない設計とする。

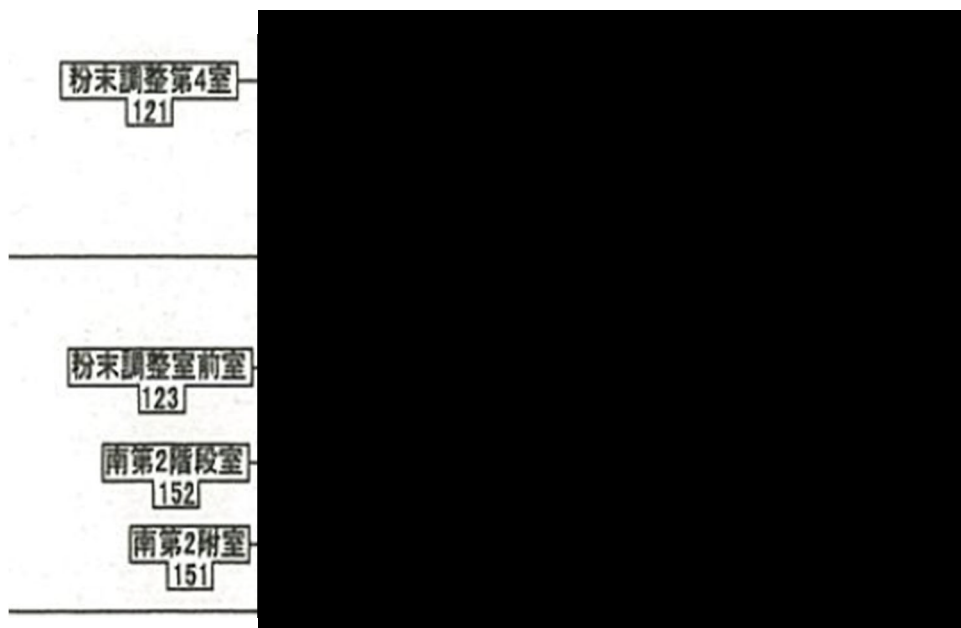
アクセスルート周辺のPP設備を第1図に示す。

なお，SG設備は，アクセスルート周辺への設置する計画はないため，影響を及ぼすおそれはない。

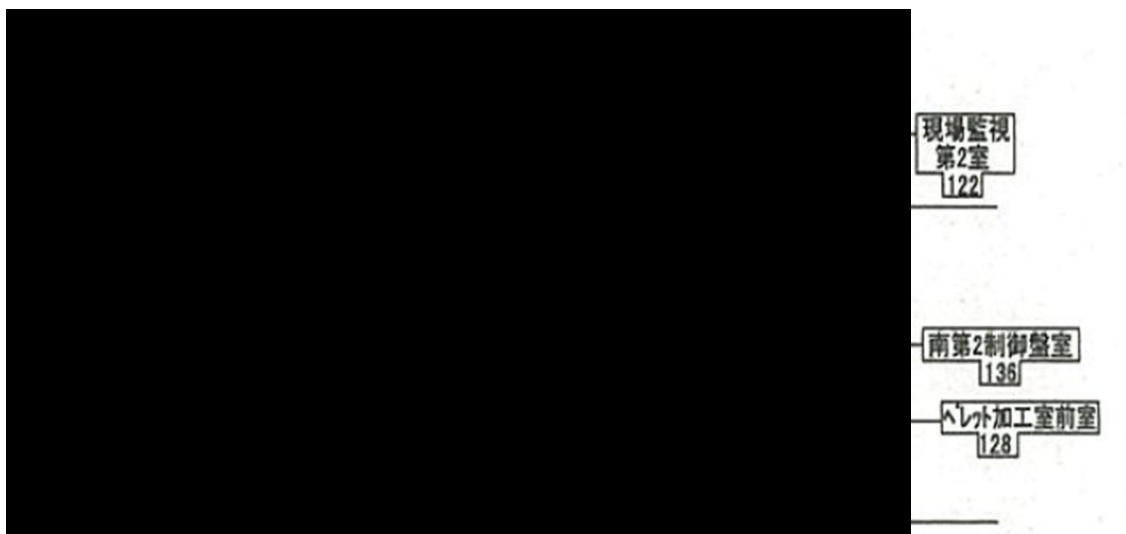
また，PP設備及びSG設備の[REDACTED]は，小型であり，アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。

アクセスルート周辺に設置されるPP設備による影響について，第2図に示す。

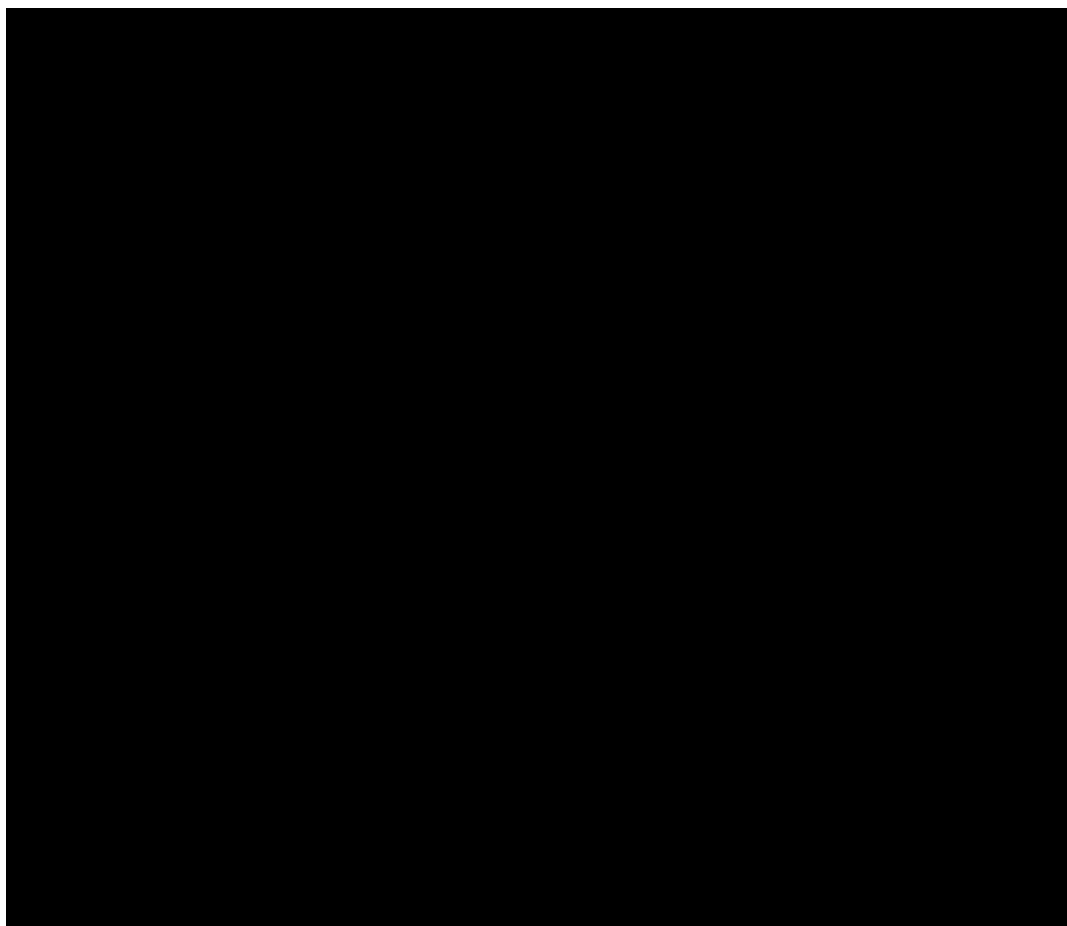
[REDACTED]は，設計検討中で概略寸法ではあるが，落下，転倒したとしても，アクセスルートを阻害することがないことから，アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。



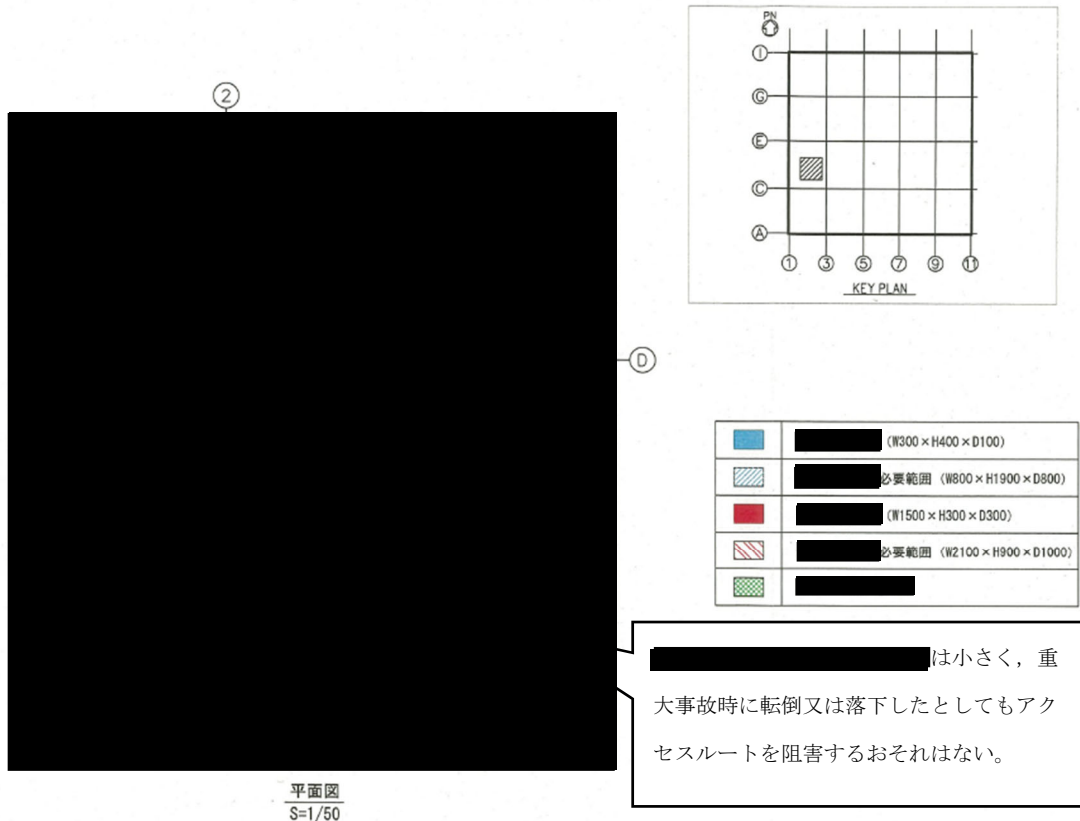
第1図(1) アクセスルート周辺のPP設備 (123室)



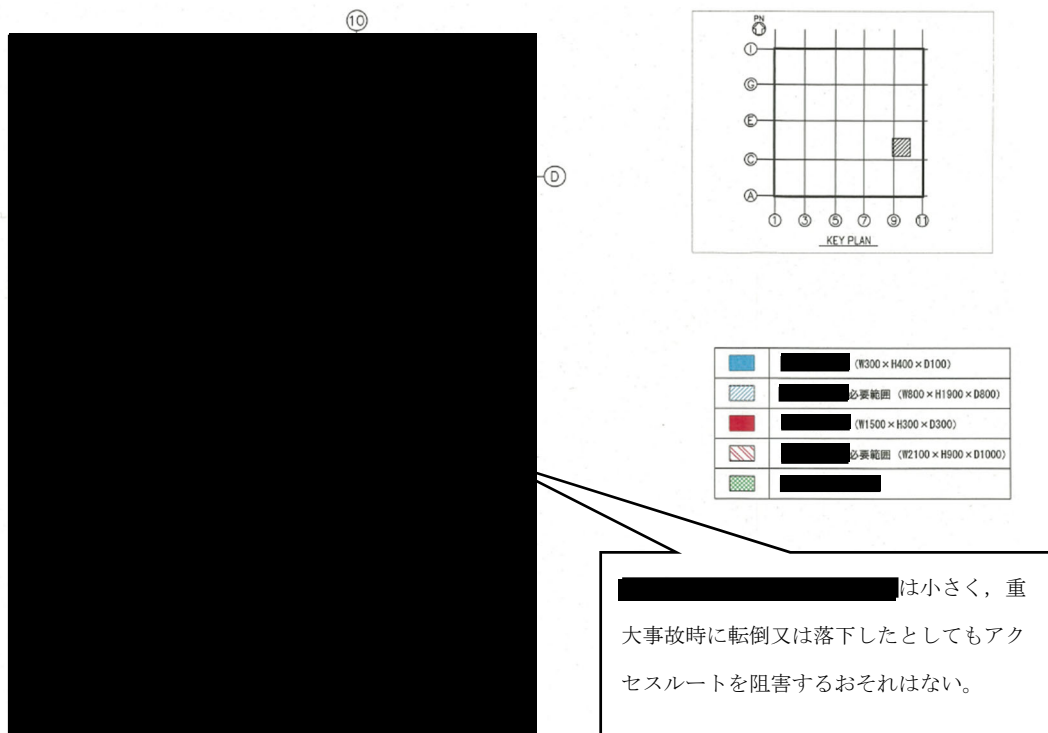
第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (128室)



第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (530室)



第2図(1) 123室におけるアクセスルートへの影響



第2図(2) 128室におけるアクセスルートへの影響



第2図(3) 530室におけるアクセスルートへの影響

別紙

資料No.	別紙			備考
	名称	提出日	Rev	
別紙1	主要設備リストの記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙2	準拠規格及び基準の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙3	設定値根拠説明書の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙4	工事工程表の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙5	変更の理由の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙6	添付図面の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし
別紙7	加工施設の事業変更許可申請書との整合性に関する説明書の記載方針について	2/28	0	共通08-2 R0(令和5年2月28日提出)から変更なし